



バリバリやります！ 埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ実践力！

石川ただよし 報告

2021年 通算第178号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

プロフィール:昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
 平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。少子・高齢福祉社会対策特別委員会委員。新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員。議会運営委員会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO 法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学ファン。彩愛クラブファン

事務所
 〒346-0003
 久喜市久喜中央2-4-30
 コバヤシビル B201
 TEL: 0480-53-5107
 FAX: 0480-53-5702
 (番号非通知は受信できません)
 ホームページ
<http://baribarist.com/>
 (メールフォームあります)

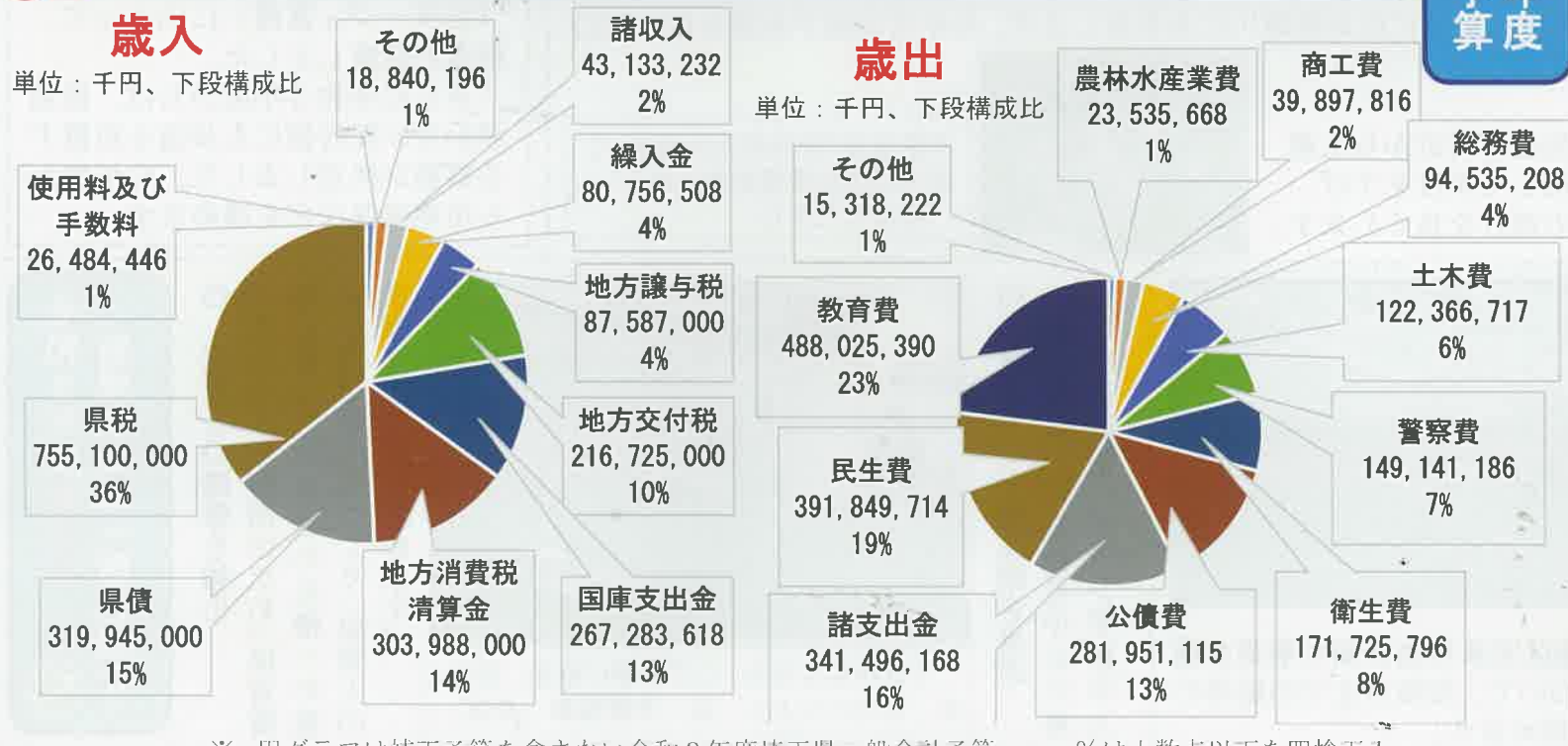
令和3年度 新型「新型コロナウイルス感染症対策」の補正予算を加えた累計予算

2兆1,803億8,766万円 (令和3年4月27日現在)

令和3年度
 埼玉県予算

皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症の大流行から1年以上を経過しましたが、未だ収束の兆しはなく、県民生活への影響も続いています。私としても通常の活動を再開し、議会活動を通じて、少しでもその影響を軽減し、困難をともに乗り越え、引き続き努力を行ってまいります。さて、今号では、2月定例会とその後の臨時会の概要と合わせ、新年度の久喜市内事業の概要を中心に報告をいたします。

※裏面には久喜市内の県事業・新しい県事業なども掲載



※ 円グラフは補正予算を含まない令和3年度埼玉県一般会計予算 %は小数点以下を四捨五入



「予算特別委員会」で質疑をする石川ただよし

新型コロナウイルス感染症対策

- 医療従事者への手当支給、重症患者の入院医療機関への協力金の単価増額
- ワクチン接種に関して、市町村で対応できない専門的な相談に対応する専門窓口を設置
- 医療従事者等へのワクチン優先接種をする医療機関への支援
- まん延防止等重点措置に伴う「営業時間短縮要請」による「感染防止対策協力金」を支給
- まん延防止等重点措置による飲食店の感染防止策の状況をチェックするための個別訪問の実施
- アクリル板の設置など感染防止対策をする事業者への補助を実施
- 介護施設の感染防止対策への支援
- 介護、障害者サービス施設の事業継続のための支援
- 保健所に38人、医療体制やワクチン接種体制整備に10人など計53人の職員を増員

右の記載内容は、2月定例会と4月の臨時会で可決した予算までの情報です。新型コロナウイルス感染症の状況変化に伴い、県の事業の変更や追加になることがあります。最新の情報は県の公式ホームページなどでご確認ください。

令和3年度重点施策

- 1 「安心・安全の強化」 ①感染拡大防止と医療提供体制の強化 ②危機や災害に強い埼玉の構築 ③県民の暮らしを守る
- 2 「DXの推進と県経済の回復・成長」 ①デジタルトランスフォーメーションの推進 ②埼玉の稼げる力の向上 ③魅力ある埼玉の発信
- 3 「持続可能で豊かな未来への投資」 ①埼玉版SDGs推進 ②誰もが活躍できる社会の実現 ③未来を見据えた基盤づくり

久喜市南「県道杉戸久喜線」の道路拡幅、両側に歩道設置の事業化決定

栗橋地区、県道と市道の安全確保進む

「県道杉戸久喜線」の拡幅、歩道設置については、自動車渋滞や通行の安全性から地域の皆様や久喜市、通行される方々から要望を頂いていました。働きかけを行っていたところ、市の事業である「市道211号線(久喜駅西口からの道路)」の県道交差点までの工事が完了して直ぐに事業化されました。事業区間はJR・東武鉄道陸橋の西側、久喜市南の交差点から「焼き肉レストラン安楽亭」を通り本町の「県立久喜高校」までの歩道未設置区間の600mです。計画では道路の幅を22mにした上で2車線、両側に歩道設置を行います。令和3年度は交通量や土地・建物の登記、総事業費の確認や調査を行います。その後、各種調査が終了してから安全性など多方面から検討し、各設計などを行っていく予定です。

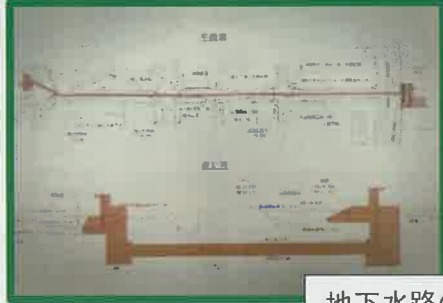
佐間地区、「県道阿佐間幸手線」のJR陸橋東側、現在、拡幅整備をしている鷺宮地区からの市道交差点に歩道と右折帯を設置するための調査を委託します。

R3年度は「産業労働企業委員会」、「少子・高齢福祉社会対策特別委員会」、「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」、「議会運営委員会」に所属しました。「議会運営委員会」は6年連続所属です。引き続き県議会が身近で、県民目線の運営となるように取り組みます。

「庄兵衛堀川」の治水対策を進め 除堀・原・樋ノ口・菖蒲町台を水から守ります



大雨で水量が増加した「庄兵衛堀川」



地下水路の工事概要図



地元の皆様からご要望を頂いて平成27年から働きかけを行い、昨年度から事業が始まった「庄兵衛堀川」の治水対策を進めます。

この事業は「菖蒲町台」「除堀」「原」「樋ノ口」各地区が長く悩まされ続けている大雨時の冠水・浸水被害の解消を目指しています。

完成後には、庄兵衛堀川が増水した時に新たな地下水路を使いいったん庄兵衛堀川から菖蒲公園の昭和沼に河川水を貯水し、水位が低下した頃に庄兵衛堀川に水を戻します。今年度は地下水路を掘り進むための設計と一部工事を始めます。

また、その他にも原地区で圏央道下付近から上流に向かって500mの川底を掘削して水位を下げ、河川敷内の樹木も伐採し河川水の流れを良くします。



所属会派「無所属県民会議」で
県民相談の書類をまとめる
石川ただよし

菖蒲町三箇地区 新たな歩道の反対側 にも歩道設置が決定



地元の皆様や通行する方々から要望を受けて働きかけを行った結果、昨年完成した菖蒲町三箇地区、「県道川越栗橋線」の笹田橋に新しく歩行者自転車専用橋の設置と「モラージュ菖蒲」に向かって、歩道を設置しました。

さらに令和3年度からは、要望がかない反対側にも歩道を設置する事業が決定しました。今年度から用地確保などを進めます。

鷺宮地区、「県道加須幸手線」の 加須市側への延伸 を引き続き進 めます



「県道さいたま栗橋線」の鷺宮地区宝泉寺池西側で事業が進んでいる「県道加須幸手線」について、加須市までの延伸のための用地交渉などを引き続き進めます。

○ 県ブランド農産物を推進
県が育成した品種を中心に埼玉県産農産物のブランド競争力



「予算特別委員会」にて知事に直接、質疑。
左：石川ただよし 右：大野知事（着席）

○ 保育士の確保を強化
保育士不足解消のため、保育資格を持っていない人の名簿への登録制度を新たにづくり、保育士の復職支援などを進めます。

令和3年度埼玉県
新規事業の一部を紹介



令和3年度埼玉県予算を審査する「予算特別委員会」にて、地元問題を質疑する石川ただよし

○ 災害に備えた 医療体制整備
災害時の患者を受け入れる「災害拠点病院」と連携する「災害時連携病院」の整備を進め、大規模災害時の災害派遣医療チームの養成を進めます。
また、在宅の難病患者が風水害発生以前に避難入院できる仕組みをつくりまします。

○ 川を守る サポーターズ制度を創設
これまでの団体に加え、企業が商品開発など企業活動を通じて川の保全につながるように団体や個人との引き合わせを行います。

○ 児童虐待防止を強化
熊谷児童相談所と一時保護所を整備します。県南西部に新たな一時保護所を併設した児童相談所を設置するための設計を行います。また、SNSによる相談窓口を開設するとともに、休日・夜間の虐待対応窓口の回線数を増設等します。

を高めまします。SNSやデジタルツール、イベントなどの開催を通じて、埼玉県産農産物の販促、認知度の向上を進めます。

その他の主な久喜市内事業

(紙面の都合で掲載していない事業があります。掲載のない事業はお問合せ下さい。)

- 「青毛堀川」の野久喜地区、和田裏橋の架け替え工事等を引き続き行います。令和3年度には旧橋を撤去して切り回しの道路を設置する予定です。新橋の完成は令和5年度内を予定しています。
- 太田袋地区、農業集落排水処理施設の機能を強化します。今年度は劣化したマンホール蓋の取り換えや中継ポンプの更新などを行います。
- 「県道川越栗橋線」が清久地区、所久喜地区、北中曽根地区を通る部分の安全対策と地元等による協議を進めます。
- 菖蒲町菖蒲地区、「県道加須菖蒲線」が「県道川越栗橋線」と交差する「菖蒲宮本交差点」から加須側に上下線とも650mの舗装を打ち換えます。
- 「野通川」「附廻堀悪水路」が大雨時に川を越えて溢水する問題を解決するために、「小林調節池」にいったん河川水を貯める工事に伴い、「元荒川」の掘削工事と遮水工事などを行います。
- 高柳地区の国道125号が中川を渡る「古門樋橋」の架け替え工事を行うための設計を行います。
- 鷺宮地区、久喜市立鷺宮図書館近くの県道鷺宮停車場線にかかる「旭橋」(幅12m、長さ6,8m)の架け替え工事を8月下旬頃から行います。完成は来年春の見込みです。

「石川ただよし 県政報告会」のご案内 (オンラインでも開催)

久喜市に係る令和3年度の埼玉県の事業や県の新規事業などを報告します。開催日は6月中旬から下旬を予定していますが、新型コロナウイルス感染症の状況を見て開催をします。参加をご希望の方は、氏名、連絡先などを必ず事前に事務局までご連絡下さい。開催の可否や日時、会場などをお知らせいたします。

開催する場合は、会場の換気・消毒などの新型コロナウイルス感染症対策を行い、座席は少数に限定いたします。

電話：0480-53-5107 FAX：0480-53-5702

(番号非通知は受信できません)

住所：〒346-0003 久喜市久喜中央2-4-30 コバヤシビルB201

来年の4月には久喜市議会議員選挙が行われる予定です。地域づくりを真面目に考え立候補を考えているけれど、「準備の仕方が分からない」「何をすれば良いのか分からない」という方、ご相談にのります。年齢や性別は問いません。石川ただよし事務所までご連絡下さい。

来年の久喜市議選に新人で立候補を考えている方

私自身も会社員をしていた25歳の時に、「自分の考えを市の福祉に反映させたい」との強い思いから初めて久喜市議会議員に立候補をして当選をしました。



私が所属する会派から、中国政府による新疆ウイグル族への人権弾圧に対し日本政府が抗議をすること等を求める意見書の提出を提案しましたが、理由が述べられることなく自民党県議団等の反対で否決となりました。人権問題にどう向き合うのか、私にはこの行動が理解できません。





バリバリやります！ 埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ実践力！

石川ただよし 報告

2021年 通算第179号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コパヤンビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
https://www.baribarist.com
(メールフォームあります)

プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)。
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。少子・高齢福祉社会対策特別委員会委員。新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員。議会運営委員会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学ファン。彩愛クラブファン

※ 表面には久喜市内の事業なども掲載

新型コロナウイルス感染症対策の事業

皆様、いかがお過ごしでしょうか。埼玉県でもワクチン接種が進んできましたが、未だ新型コロナウイルス感染症が収束の兆しはなく、県民生活への影響も続いています。私としても通常の活動や議会活動を通じて、少しでもその影響を軽減し困難をともに乗り越えようとするべく引き続き努力を行っております。さて、今号では、6月定例会とその後の臨時会の概要を中心に報告をいたします。

生活に困っている方への支援

社会福祉協議会を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業をして収入が減り生活資金に困っている方への生活費(緊急小口資金、総合支援資金(生活支援費)の再貸付)について、受付期間を6月末から8月末まで延長しました。



外出自粛等の影響を受けている事業者の支援

外出自粛などの影響で令和3年4月、5月、6月の月あたり売り上げが前年か前々年に比べて50%以上減り、国からの月次支援金を受けている県内の事業者に国からの支援金(月あたり10万円から20万円)に県が協力支援金を上乗せして給付します。

中小法人等は月あたり5万円、個人事業主は2万5千円を3か月分まとめて1回で給付します。(売上減少の算定は単月ごと)

酒類販売事業者等への支援

飲食店用の酒類提供自粛要請の影響を受けて売り上げが大きく減った酒類販売事業者等に協力支援金を給付します。令和3年4月、5月、6月、7月の月当たり売り上げが前年か前々年に比べて30%以上減っている酒類販売事業者等に国からの月次支援金額に合わせて協力支援金を給付します。売り上げの減少率によって中小法人で月あたり合計20万円から60万円、個人事業主は10万円から30万円の給付になります。

タクシー・バスなど地域交通事業者への支援

運行上必要な感染防止対策を実施した秩父鉄道、バスやタクシーなど公共交通機関に支援金を給付します。埼玉県内で対象になるバス会社は20社、タ

補正予算

609億8,610万7千円
(6月定例会補正予算総額)
683億6,781万5千円
(7月9日臨時会補正予算)

クシー会社は190社、個人タクシーは180事業者を見込んでいます。それぞれ、定額プラス車両の保有台数あたりで計算し給付します。



県議会「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」で発言する石川ただよし

県産品製造事業者への支援

県の公式観光サイト「ちよこたび埼玉」で県産品の販売促進を行います。販売した場合の送料や1割から2割引のキャンペーンを行い、割引料を県が負担します。また、合わせて県の観光の魅力を紹介する「ちよこたび埼玉」のHPを発信したり、著名人を活用したPRなども行います。



その他の補正予算事業

○ 高齢者・障害者入所施設と通所施設の職員へのPCR検査実施
8月まで月に2回、感染予防のため高齢者・障害者入所施設のPCR検査を継続し通所施設の職員にもPCR検査を実施します。

生活困窮者の自立支援強化

生活が困窮している人を助けるために県所管の相談支援員を増員し、各市が行う生活困窮者自立支援の機能強化を助けます。

特別支援学校を新設

さいたま市岩槻区の旧岩槻特別支援学校跡地に鉄筋コンクリート3階建て延べ面積4,183.18㎡の特別支援学校を建設するため



県東部地域特別支援学校(仮称)イメージ図

の工事の請負契約を締結しました。一般競争入札により、税込みで14億8,500万円での契約です。令和4年12月23日が履行期限になっています。開校は令和5年4月を予定しており、小中高各部を置き合計200名が通える規模になる予定です。

水田麦・大豆産地生産性向上

麦・大豆の需要を捉えた生産拡大と多収・高品質の安定供給に取り組み県内農業者団体に、団地化を進めるための必要経費や営農技術の導入、機械・施設の導入等に2分の1以内の補助を支援します。



県議会「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」

主な条例の改正

○ 県道の使い方を幅広く
国の制度が変わり歩道に食事スペースなどの賑わい空間を設けられるようになったことから、県道の歩道を指定する場合の構造基準を定めました。また、自動運転車の運行補助施設やバス停などを道路付属物とする改正を行いました。県では3か所ほどを想定しています。



「県道幸手久喜線、野久喜地区への歩道設置の準備が進む」

地元や市議から要望などを頂き歩道設置を働きかけていた県道153号「県道幸手久喜線」の野久喜地内、道路北側歩道未設置部分への歩道設置準備が進んでいます。

私が所属する会派「無所属県民会議」から大野知事に「令和2年度予算要望」、「令和3年度予算要望」を通じて歩道設置を要望していました。

今年度から測量や基本設計を始め、来年度以降に歩道設置予定区間の物件調査、土地鑑定や用地買収を行い、順次、歩道設置の工事を行う予定です。



「菖蒲小林調節池 第3調節池の整備進む」

野通川や元荒川からの浸水被害を解消するために造成している小林調節池について、トレーニングセンター隣接の第3調節池の造成が進んでいます。

今年度は第3調節池の外周半分までを矢板で遮閉する予定です。菖蒲中学校校舎側は来年度になります。1工区を約70mずつに区切り約600m分の工事です。



○ 看板などによる事故発生の防止を強化
看板などの屋外広告物の落下や倒壊事故を防止するために、貼り紙や電柱巻き付き広告など事故のおそれがないものを除いて、屋外広告物の設置者に点検を義務づけました。



7月14日「知事のふれあい訪問」があり久喜菖蒲工業団地内で学校制服などを主に企画・製作している「光和衣料株式会社」様を大野知事が視察しました。私も地元県議として同行しました。



新型コロナウイルス感染症対策で影響が大きい事業者への支援について大野知事に要望する石川ただよし（テレビ埼玉ニュースより）

「清久地区の渋滞緩和・安全対策 新たに県道久喜騎西バイパスの事業化を求める」

「県道川越栗橋線」の渋滞緩和と安全確保、通行の利便性を高めるなどのために、現在、「県道さいたま栗橋線」から「アリオ鷲宮」脇を通る市道について、その先の「県道川越栗橋線との交差点」から「県立鷲宮高校」の前を通り加須市に至るまでを県道として拡幅など整備しバイパス化を求める期成同盟会が発足しました。

既に加須市側の事業は進んでいます。私としても新バイパスの整備が早急に実現するよう全力で県に働きかけを行っていきます。



※ 次回「石川ただよし」の一般質問は9月30日の予定です。

「圏央道の下早見・太田袋への遮音壁の要望が実現 4車線化も順調に進む」

これまで久喜市下早見・太田袋地区から圏央道を通行する自動車等からの騒音防止や飛散物防止のために、遮音壁がない区間には遮音壁の設置と遮音壁が低い部分には高さを引き上げる要望が地元の皆さんから頂いていました。

春山市議会議長の協力も頂き要望実現を努力していましたが、7月15日に要望があった区間について遮音壁を新たに取付いたり、従来示されていた遮音壁の高さを引き上げて4mのものを設置することがネクスコ東日本から示されました。



「高柳の県道さいたま栗橋線が中川を渡る「門樋橋」の架け替え準備進む」

「門樋橋」の架け替えを進めています。今年度から令和4年度にかけて同橋前後の道路を含めた橋の詳細設計を行います。詳細設計が終わり、来年秋ごろには地元関係地区への説明会を開催する予定です。

現段階では、現在の橋よりも2m程橋が高くなる見通しです。

令和5年度からは、設計に基づいて用地買収や工事を進めていく計画です。



左：第3回久喜市健康ポッチャ大会にて 右：久喜小学校ピオトープ見学会にて



左：加須スケートパーク（スケートボード場）視察にて 右：久喜提燈祭り「天王様」東一山車の展示会場にて

情報発信

活動や県政情報をホームページ、SNS等で発信しています。「石川ただよし」で検索して下さい。



HP : <https://www.baribarist.com>



来年の4月には久喜市議会議員選挙が行われる予定です。

地域づくりを真面目に考え立候補を考えているけれど、「準備の仕方が分からない」「何をすればいいのか分からない」という方、ご相談にのります。年齢や性別は問いません。石川ただよし事務所までご連絡下さい。

来年の久喜市議選に新人で立候補を考えている方

私自身も会社員をしていた25歳の時に、「自分の考えを市の福祉に反映させたい」との強い思いから初めて久喜市議会議員に立候補をして当選をしました。



「出前報告会（相談会）」に伺います

地域のことや特定の事業、県政全般について石川がお伺いしご説明などをいたします。また、地域でお困りのことなどへのご相談にも対応いたします。事務所までご連絡下さい。



バリバリやります!

埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ実践力!

石川ただよし 報告

2021年 通算第180号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コパヤンビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
(メールフォームあります)
https://www.baribarist.com/



プロフィール:昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。少子・高齢福祉社会対策特別委員会委員。新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員。議会運営委員会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO 法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学ファン。彩愛クラブファン

危険なバス停の改善を



幅員の狭い道路の車道すれすれに設置されたバス停やバスを待つこと自体が危険であるなど、県民が危険を感じている。バス停は多くある。改善を進めるべきであるが、知事の認識は。

石川ただよし 主な質問項目

- 1 彩の国みどりの基金を生物多様性にいかすべき
- 2 危険なバス停の改善に県として対応すべき
- 3 難病患者支援について
- 4 聴覚障害者支援について
- 5 県内にスケートボードができる施設を設置すべき
- 6 商工団体の経営指導員を増員すべき
- 7 横断歩道の横断歩行者保護について
- 8 県要綱を県民のために積極的に公開すべき
- 9 地元問題について
 - (1) 県道さいたま栗橋線の門樋橋改修に伴う交差点等の改良について
 - (2) 久喜市清久地区内の県道川越栗橋線の渋滞緩和・安全対策について
 - (3) 県道久喜騎西線バイパスの早期実現を



県議会議場で発言する 石川ただよし

皆様、いかがお過ごしでしょうか。さて、今号では、9月定例会での私の一般質問の概要を中心にご報告いたします。

また、県道にある約3,000箇所のバス停は、バス事業者が県に道路占用許可申請や更新の手続きを行い、バス停を設置している。県はバス事業者に対して、各申請段階で危険だと情報が寄せられているバス停への対応を求めるべきであるが、県土整備部長の考えを伺う。



大野知事 答弁概要

県管理道路の危険なバス停は237箇所あり、安全上の優先度や地域の実情に応じて安全対策を進めている。

また、議員が指摘のような危険なバス停がある場合には、関東運輸局に改善を要請したい。

危険なバス停を改善するには、地元の声が不可欠なので、自治体が住民の声を集めることができるよう要請したい。

県としてホームページなどを使い、関係機関との連携を強化し危険なバス停の把握の実行性を高める。

新しい道路占用許可申請時はバス事業者に指導を徹底し、更新時においても危険なバス停に分類されるバス停は、バス事業者に移動を指導する。

また、危険なバス停に分類されていなくても住民から危険だと情報が寄せられているバス停は、バス事業者に必要な対策を指導する。



答弁する大野知事

原因が不明である難病は、誰にでも起こりうる病気である。難病は平成25年からは障害者総合支援法の対象となったが、まだまだ社会に難病についての正しい理解が広がっていない。真の共生社会の実現のためには、県は難病や難病患者への理解を広める必要がある。



大野知事 答弁概要

難病患者の就労機会の確保と継続雇用のために、企業側に呼びかけるべきであるが、知事に伺う。

難病については、残念ながら理解が進んでいない。様々な症状による苦しみに加えて、長期的に高額な医療費がかかるなど経済的な負担も大きなものである。差別や偏見の対象となることで、これらの負担が増してしまうことは絶対あってはならない。

県では難病についての理解を深めていただくため、県ホームページで周知を図っているが、医師向けに医療費助成の診断基準を伝えるという目的もあり、専門的な内容となっていた。今後は現行のホームページとは別に、一般にも分かりやすく難病について理解が深まる内容のホームページを新たに作成し周知する。



ヘルプマーク

企業の障害者雇用率に換算されるのは障害者手帳を持つ人であることから、これまでは難病患者の就労や継続雇用に関しては、県も積極的に関与をしていない。難病患者に対し大切なのは、一人ひとりのありのままを理解しての雇用・雇用環境になるように企業に理解をもらうことである。

また、内部障害や難病の方など外見から分からなくても援助や配慮を必要としていることを示す「ヘルプマーク」を難病患者が活用しやすいように、保健所でも普及を進める。

難病患者支援について

さいたま市を除く埼玉県内の難病患者は令和2年度で4万3,516人となる。

また、危険なバス停に分類されていなくても住民から危険だと情報が寄せられているバス停は、バス事業者に必要な対策を指導する。



「令和2年度決算特別委員会」にて9月定例会閉会后、8日間にわたり前年度の埼玉県決算を審査しました。

他に、議員ご提案のとおり、難病に関する患者自身の経験を通じていただくような

※裏面には久喜市内の事業なども掲載

機会を設けることは、社会全体の理解を促進する上で非常に有効である。

今後は取り入れ、難病患者について正しい理解が進むよう努める。

難病患者の就労支援については、今後、県障害者雇用総合サポートセンターに専門の担当者を配置し、企業の難病患者への理解が深まるよう周知していく。

また、難病相談支援センターやハローワークをはじめ関係機関の連携を強化し、連絡会議を開催するなど難病患者の就労につながるよう取り組んでいく。

石川ただよし質問概要

条例や規則は住民等の権利・義務に関わることから全国の自治体で広く公開しているが、自治体によっては行政の手続きや手順について定めた要綱も公開している。

県の様々な手順を定めた要綱なども県民に積極公開すべき

公開することで、行政手続きの公平・公正性を担保し、さらに関係者の利便性も高まることを期待していることである。

一方、埼玉県では各行政委員会、議会、警察本部を含めて今年9月17日時点で2,470ほどの要綱があるが、県が選択したわずかな数の「要綱」だけが公開されるに留まっている。



再質問を求める石川ただよし

が自ら手続きが正しく、基準に従ったものであるかどうか確認できるよう、要綱を積極的に公開すべきだが。



質問する石川ただよし

総務部長 答弁概要

要綱は、行政機関内部の実務について定めたものである。

その内容は、補助金の交付や事業の実施に関するものほか、協議会などの会議の設置、運営に関するものなどである。

要綱に記載されている事項には、県民の皆様にとって必要な情報も多く、公開することにより、利便性の向上につながる。

条例や規則などは、ウェブ検索システムとして、法規集データベースを開発しているが、要綱については、県のホームページ内に新たに要綱集のページを設ける。

今後は、県民の皆様により分かりやすい形で、積極的に公開していく。

石川ただよし質問概要

久喜市内を流れる中川と県道さいたま栗橋線と交差する「門樋橋」は架け替えをする計画である。

県道さいたま栗橋線「門樋橋」改修と交差点改良について

架け替えると、門樋橋が現在の位置よりも高い所に設置されることや付近に産業団地の造成も予定されており、交通事故防止について心配の声や十分な右折帯確保、付近の信号機の変更についての要望もある。

県土整備部長 答弁概要

門樋橋は、令和3年度は橋梁の詳細設計に着手する。

門樋橋に近接する交差点の改良は、橋の架け替えと相互に関連するので橋の設計に合わせて検討する。

また、周辺の土地利用や交通量を踏まえ、交差する市道を管理する久喜市や警察と協議を進める。交差点などは橋の設計と密接に関連するので、要望も踏まえて周辺状況も考え設計を進める。



鷺宮側からの「門樋橋」



石川ただよし質問概要

この道路の渋滞緩和・安全対策問題は、一般質問で過去4回取り上げてきた。

清久地区内の県道川越栗橋線の渋滞緩和・安全対策について

令和元年12月議会では県・市・警察・地元との協議の場を提案し現在は検討会が設置された。できるだけ早期に、できることから渋滞対策・安全対策をさらに進めていくべきであるがいかがか。

県土整備部長 答弁概要

この県道の周辺には、商業施設や工業団地が多数立地しており、これまでに上清久交差点に暫定的な右折帯の整備をしたが、上清久地区では朝夕を中心に渋滞が発生している。

令和3年9月に渋滞調査を実施したので、11月に開催する検討会に調査結果を報告し、意見を伺いながら渋滞・安全対策の検討を進める。

また、令和3年度は、上清久交差点の南側の78メートル区間の側溝を整備し、段差の解消と歩行者の安全対策を進める。

今後は県道川越栗橋線の渋滞緩和と安全対策の推進に取り組んでいく。



路側帯設置工事と横断歩道の整備が進む県道川越栗橋線

西大輪地区、県道さいたま栗橋線にかかると「こかわ歩道橋」不審者対策工事完了

西大輪の県道さいたま栗橋線にかかると「こかわ歩道橋」の不審者対策として、上部透明板への交換工事が完了しました。

この歩道橋は、これまで外壁で歩道橋内が外から確認しにくいことから、死角となり度々不審者が出現していました。そこで、子供たちの通学路でもあるので地域や保護者、学校関係者の皆様から透明板への交換など対策の要望を頂き関係機関に働きかけを行っていました。

歩道橋の見通しが良くなるように、外壁の透明板への交換と警察官による不定期の巡回が始まりました。



上部を透明板にした「こかわ歩道橋」

無所属県民会議「新人発掘プロジェクト」始動

市民目線 県民目線で政治活動をする仲間を増やすために、市議選、県議選を目指す人を発掘し政策や選挙などについて研修を実施する「無所属県民会議 新人発掘プロジェクト第一期」がスタートしました。久喜市内を含め、県内各地から受講生が参加しています。私も同プロジェクトの責任者として、他の県議とともに講師を務めています。受講生の熱意が現職にも刺激になります。



大野知事に久喜市に関する来年度要望を提出

地域の皆様や久喜市から頂いていた要望や意見をまとめ、10月14日に来年度の埼玉県予算に反映を頂けるように大野知事に要望書を提出しました。

県道の整備に関しては、歩道の設置や歩道橋の新設、交差点改良など24箇所。河川の整備は、築堤や護岸整備、浚渫や川幅の拡幅など5箇所。信号機の設置は、変更を含めて19箇所を要望しています。

他にも市内の農業用水の整備、公園の整備や産業団地の造成、通学路の整備、県営住宅の管理方法改善と補助増額、地域の問題などを要望しています。

また、土木事業にかかわらず県政全体についても会派から全体で約600項目を要望しました。

できるだけ早期に、予算化できるように今後も努力を続けて参ります。



左：石川ただよし、右：大野知事



バリバリやります!

埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ実践力!

石川ただよし 報告

2022年 通算第181号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コパヤンビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
(メールフォームあります)
https://www.baribarist.com/



プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士) 平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。少子・高齢福祉社会対策特別委員会委員。新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員。議会運営委員会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO 法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。彩愛クラブファン



所属の「少子・高齢福祉社会対策特別委員会」で質問をする石川ただよし

12月に可決した「一般会計補正予算」の総額 419億3,304万8千円



(補正予算を加えた後の埼玉県一般会計予算の総額)
2兆6,375億5,877万6千円

新型コロナウイルス対策

〇「生活に困っている方への支援」

社会福祉協議会を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業をして収入が減り、生活資金に困っている方への緊急かつ一時的な生活費(緊急小口資金)の再貸付について、受付期間を令和4年3月末まで延長しました。

〇「介護施設・障害者施設の新型コロナウイルス感染症対策の継続」

感染発生時でも介護・障害福祉サービスが継続できるように、人員確保や施設等の消毒と清掃の経費を補助します。また、クラスターが発生した介護・障害者施設に看護師を派遣する体制をつくります。他に介護施設の事業継続を支援するために約13億円を基金に積み立てました。

〇「無料のPCR検査・抗原定性検査を開始」

発熱などの症状がなく感染に不安がある県内在住者は、県に登録をした県内薬局・ドラッグストアでPCR検査等が無料で受けられるようになりました。

皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスによる生活などへの影響が始まり、2年が経ちました。議員活動にも一定の制約がありますが、今できることを精一杯行い、皆様とこの困難を乗り越えたいと思います。さて、今号では、昨年12月定例会で議決した内容と久喜市内県事業の進捗を中心に概要をご報告いたします。

※裏面に久喜市内の県事業について掲載しています。



各市町村の検査場は県ホームページから確認できます。 ※検査器具の供給状態により、検査数に限りがあります。また、無料検査の内容が変更になることもあります。事前にお問合せ下さい。

埼玉県検査無料化相談窓口
電話: 0570-200-607
受付時間: 9時~22時(土日祝日含)

コロナ後の新しい生活様式を見据えた社会活動の活性化支援

〇「観光応援キャンペーンを実施」

県内施設に宿泊をした人に、1月末まで飲食店やお土産店で使用できる3,000円のクーポンを交付します。

また、県内や埼玉県に隣接する都県からの宿泊・日帰り旅行をした場合には、旅行代金の5割(上限5,000円)を補助し、さらに2,000円分の地域観光券を配付します。(新型コロナウイルスの感染状況により、中止する場合があります。)

※1月中旬からの新型コロナウイルス感染症増加に伴い、3,000円のクーポン交付、旅行代金の5割補助と2,000円の地域観光券の配付は開始延期となりました。

〇「県産農産物で販売促進キャンペーン」

量販店等が埼玉県産の農産物を使うキャンペーンなどを支援して、販路拡大を行います。キャンペーンでの食材費は2分の1、キャンペーンのPR資材経費は10分の10を補助します。



埼玉県産農産物を食べよう! キャンペーン用のぼり

〇「事業再構築に取り組み中小企業等への支援」

獲得することが難しい国の「事業再構築補助金」の申請に必要な事業計画の策定に関わる税理士への委託料などの経費2分の1(上限25万円)を補助します。



〇「キャッシュレス決済に取り組む商店街を支援」

クレジットカードや電子決済で会計を済ませる機器等の導入を進める商店街に補助をします。会員店舗の9割以上かつ新たに10店舗以上が機器を導入する場合や新たに20店舗が機器を導入する商店街には、全額を補助します。右記以外の商店街が機器を導入する場合にも半額を補助しますが、1店舗あたりの上限は4万円の補助になります。



介護者の負担軽減につながる「介護ロボット」を体験しました。

その他の議案

〇「宝くじの販売額を決定」

公共事業等の経費に充てるため、全国自治宝くじ、関東・中部・東北自治宝くじを発売するため、埼玉県の令和4年度販売額を400億円以内に決定しました。

〇「クロスボウの所持などの手数料を決定」

法改正によりクロスボウの所持などが公安委員会などの許可制になりました。これに伴い、3月15日からの所持許可申請(10,500円)や初心者講習会受講申請(6,900円)などの手数料を定めました。



「クロスボウ」警視庁HPより

〇「久喜市・加須市の下水道維持管理負担金が値上げ」

久喜市と加須市の一部の下水道処理を行っている古利根川流域下水道の維持管理のための負担金が令和4年度から値上げになります。

県では5年ごとに負担金額の見直しを行っており、久喜市・加須市の同意を得たことから1㎡あたり78円から82円となります。



大晦日からのピラ配布とご意見聞き街宣活動。お声がけありがとうございました。



議事堂内で地元案件を職員からヒアリング。色々な要望や意見を伝える場でもあります。



石川事務所で市内各地への「議会報告」郵送作業をしています。



「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」で質疑する 石川ただよし

(負担金は市が負担)増額の要因は主に施設の老朽化や電気料、労務費の増加です。
負担金は久喜市・加須市から埼玉県に納められます。
(久喜市の維持管理負担金は他の地区に比べて高額であることから、令和3年8月3日に久喜市・加須市とともに県に県内下水道維持管理負担金の平準化を求める要望活動を行っています。)



～ 令和3年度 埼玉県による久喜市内事業の進み具合 (抜粋) ～

下清久 「県道六万部久喜停車場線」未舗装の路側帯の安全対策が進む

水路と並行している上に路側帯がなく、地元や通行する方々から危険性が指摘されていた下清久の「県道六万部久喜停車場線」、寿倉庫様前の路側帯設置工事を進めています。

今後、安全対策として転落防止柵なども設置します。



菖蒲町柴山枝郷「県道さいたま菖蒲線」歩道設置完了

地元の皆さんから要望を頂いていた、菖蒲町柴山枝郷の「県道さいたま菖蒲線」下り線の歩道が一部狭くなっていた区間は関係者の協力も頂き拡幅工事が完了しました。



除堀・原・樋ノ口・三箇の水害対策 庄兵衛堀川大規模工事 工事施工業者決定

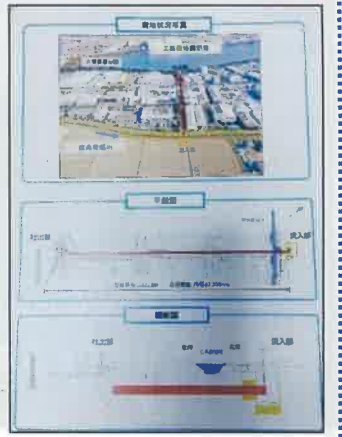
私が県議会議員当選時から取り組んできた庄兵衛堀川の大規模治水事業が始まっています。これは、庄兵衛堀川の増水時に河川水を一時的に久喜菖蒲公園の昭和沼に水を溜め、水量が減った後に再び庄兵衛堀川に水を戻すための地下パイプなどの施設を設置する工事です。

既に地下埋設物除去などの工事は始まっていましたが、12月定例会では導排水路の本体の工事業者が決定しました。庄兵衛堀川から昭和沼までは2,200mmのパイプを325m埋設する計画です。

施工業者：ユーディーケー・伊田テクノス特定建設工事共同企業体

請負金額：7億5,011万900円(税込)

履行期限：令和5年3月31日



上早見・上町「県道六万部久喜停車場線」、「県道さいたま栗橋線」舗装打ち換え完了

劣化して凹凸ができていた上早見の新久喜総合病院前「県道六万部久喜停車場線」の舗装を打ち換えて凹凸をなくしました。

また、地元の方や通行する方、市議から要望を頂いていた「県道さいたま栗橋線」の「上早見歩道橋交差点」の凹凸も舗装打ち換えを行い車道と横断歩道上の危険性をなくしました。



菖蒲町三箇 「県道川越栗橋線」歩道の設置進む

北中曾根地区から菖蒲地区(モラージュ菖蒲)に向かう「県道川越栗橋線」の歩道未設置部分への歩道設置工事が進んでいます。

ここは、以前から通行する方々から危険性が指摘され、田中勝市議や通行する方から要望を頂き歩道設置を働きかけていた区間です。

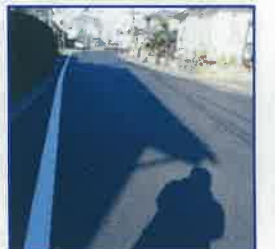
笹田橋から西側に昨年設置した歩道からさらに延長しています。



菖蒲町下栢間「県道行田蓮田線」舗装打ち換えが進む

私が当選来、継続的に整備を求めている栢間地区の「県道行田蓮田線」の整備は、令和3年度の舗装打ち換え工事588mが完了しました。

1月下旬には、さらに北側92mの工事を行います。大型車の通行などによって経年劣化した凹凸などをなくし、道路標示も新しくしました。今後も同県道の拡幅・歩道設置など整備を働きかけます。



鷲宮「旭橋」の架け替え工事進む

「鷲宮神社」から「久喜市役所鷲宮総合支所」に向かい「市立鷲宮図書館」近くにある「旭橋」は、老朽化のために架け替えを進めています。

工事は順調に進んでおり、令和4年5月31日には通行止めを解除して道路が通行できるようになる予定です。



小右衛門の農業用管水路更新工事進む

栗橋地区の小右衛門で老朽化している農業用管水路の更新工事が行われています。春の田植え時期に間に合うように、稲刈りが済んだ後に工事を始めました。工事は順調に進んでいます。



「久喜市高齢者大学」の新入生募集が始まっています。催事の時や活動中の皆さんは、いつも“はつらつ”としていて、活力が伝わってきます。ご興味のある方は「久喜市教育委員会生涯学習課」0480-58-1111(内線215)までお問合せ下さい。

地域の課題や県政全般について、ご要望に応じて出前報告会・説明会などを行っています。お気軽に石川事務所までお問合せ下さい。





バリバリやります!

埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ実践力!

石川ただよし 報告

2022年 新春号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コバヤシビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
(メールフォームあります)
<https://www.baribarist.com/>



プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士) 平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。少子・高齢福祉社会対策特別委員会委員。新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員。議会運営委員会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO 法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学・同交友会ファン。彩愛クラブファン

令和3年活動 概要のまとめ

今年もよろしくお祈いします



地元の方や市議からの要望を受けて、私が所属する県議会会派「無所属県民会議」を通じて令和2年度と令和3年度に知事に歩道設置を求めている「県道幸手久喜線」の久喜市野久喜と吉羽の間、北側の歩道未設置部分への歩道設置のための作業が進みました。

これまで自動車の通行や自転車、歩行者の通行も多いことから危険性が指摘され、歩道設置が要望されていました。

今年度は、歩道設置予定部分の測量と設計を行いました。今後は、用地買収などを経て工事に進む計画です。



県道幸手久喜線歩道設置の推進

「予算特別委員会」委員に就任。コロナ禍での新年度の県事業のあり方や方向性を質疑などしました。



令和3年6月1日から新型コロナワクチンの接種が始まる「埼玉県高齢者ワクチン接種センター」のりーサルに参加し課題を探りました。

私は接種券を忘れて接種する人の役で参加しました。

要望を頂いていた「県道さいたま栗橋線」の鷲宮、西大輪地区の下り線に歩道の設置が完了しました。

「介護老人保健施設桜田」さんの反対側、「ラーメンさんげつ」さんの北側、約70mです。ここは、北側から幅員のある歩道が南の「ラーメンさんげつ」さんの方向に設置されましたが、途中で幅員が数十センチで歩道を通っていた人はここで迂回するか、いったん車道に出るなどとても危険な思いをして通行をしていました。



県道さいたま栗橋線に歩道整備

県政を説明

埼玉県の動きや久喜市に関わる埼玉県事業について説明と報告を行うために、6月に「石川ただよし県政報告会」を開催しました

会場は新型コロナウイルス感染症対策として検温やアルコール消毒はもちろん、12分で会場内の空気が全て入れ替わる施設において参加者は収容人数の半分以下、ごく少数の参加者に限定して短時間で開催しました。



和光市では、私と同一年でこれまで市長を務めていた松本武洋氏が引退。後継者として立候補した「しばさき光子」氏を応援し当選しました。



委員会でも活発に発言



県議会「コロナ対策特別委員会委員」に会派を代表して就任。新型コロナへの県の対応や生活に影響を受けた皆さん、事業者への支援について審査を重ねました。



県議会「産業労働企業委員会」では、新型コロナの影響による事業者への支援や観光事業への打撃回避などの議案を審査しました。

県議会「少子高齢社会対策特別委員会」では、埼玉県のコロナ禍での高齢者福祉や障害者福祉などについて調査を続けました。



令和3年に議会活動で取り組んだ主なもの(抜粋)

- 新型コロナウイルス感染症で影響を受けた飲食店への協力金の支払いなどの迅速化・適正化
- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制などのあり方
- 難病患者への理解促進と就労しやすい環境づくり
- 危険なバス停対策
- 聴覚障害者支援の充実
- 商工会の支援充実
- スケートボード施設の設置
- 県営住宅(団地)の自治会支援充実
- 県道久喜西線バイパス化
- 市内道路環境の整備と交通安全
- 横断歩道に歩行者がいる場合の歩行者優先啓発活動
- 高齢者の就労環境整備充実
- 県公文書の積極公開
- 久喜市起点の観光ルート創設
- 下水道維持管理負担金の県内平準化
- 県道渋滞箇所の解消推進
- 通学路・未就学児の安全な通行
- 街路樹の適正管理 ほか



地元や学校関係者から改善要望を頂いている西大輪地区の現場確認をしました。ここは「東鷲宮小学校」と「桜田小学校」の通学路にもなっている市道と交差点で、特に朝の通行車両が多い道路です。

地域のボランティアやPTAの方々、交通指導員の皆さんも交差点などで子供達を守っていますが、通行量が多く私がいた時間帯も肌で危険を感じる場所です。

事故を未然に防止するために、県警などに改善を働きかけ、付近への横断歩道設置が決まりました。工事まではもう少しお時間を頂きます。

通学路の安全確保



自民党が提案した駅など公共的な場所のエスカレーター上では、罰則はないものの利用者が立ち止まることを義務とした条例について、私が所属する県議会会派「無所属県民会議」からこの案をより良い案とするための修正案を提案しました。

我々が提案した修正案は、自民党の原案がエスカレーターの利用者にエスカレーター上で立ち止まることを始めから義務化することに対して、先ずは「立ち止まるように努めるものとする」と利用者への努力義務にするものでした。

また、「立ち止まる」以外に酒を飲んで「酩酊状態で利用する」ことや「安全に配慮した利用」を努力することを定めた案でした。

採決では残念ながら、私たちが提案した修正案は、他の会派の賛成もありましたが多数を占める自民党等の反対で否決となりました。反対理由は示されませんでした。

修正案を提案

東鷲宮小学校・桜田小学校の保護者を始め関係者の皆様からご要望を頂いていた鷲宮地区の西大輪、県道さいたま栗橋線に架かる「こかわ歩道橋」の不審者対策として、死角になっていた歩道橋壁面上部を透明板に取り替え、外部からの視認性を高める改修が終わりました。同歩道橋は通学路になっていますが、時折、不審者が出現し危険性が指摘されていました。



安全確保

決算特別委員会委員に就任。令和4年度事業にいかせるよう前年度決算・事業について秋から12月まで審査を続けました。



議会運営委員会委員として、会派を代表して議会日程や議案の扱いなどについて他の会派と協議を続けました。



かねてから高速道路上からのゴミや積載物の飛散や騒音に悩まされ地元から要望を頂き、働きかけを行っていた圏央道久喜区間の太田袋地区、下早見地区への新たな遮音壁の設置と既にあるものを高く付け替える方針をネクスコ東日本が決定しました。



圏央道対策

休憩なしの約90分、一般質問を行いました。



一般質問

市内の若者や団体から要望を頂いていた「スケートボードパーク」の設置を要望。議会でも取り上げ県立久喜菖蒲公園への設置の方向性が決定しました。



これまで多くのご要望を頂いていた「県道杉戸久喜線」のJR陸橋西側から県立久喜高校までの整備が令和3年度から具体的に動き始めました。

都市計画事業を進め、600m区間の両側に歩道を設置して幅員22mの道路にする予定です。

令和3年度は交通量や地権者などの調査を行いました。今後、基本設計や用地買収、詳細設計などに進む予定です。

県道杉戸久喜線の整備促進



埼玉県を含め、酒販売業者の販売先である飲食店が新型コロナウイルス感染症に関わる酒類の提供自粛をしていることから、売り先が減少し経営に大きな打撃を受けていました。当時、飲食店には支援策があるものの酒販売業者への支援がない所に、政府が支援を決定したので、これに県が追加的な支援をすることや対象を幅広くすることを知事に求めました。

その後、要望が実現し埼玉県では幅広い支援が行われることになりました。



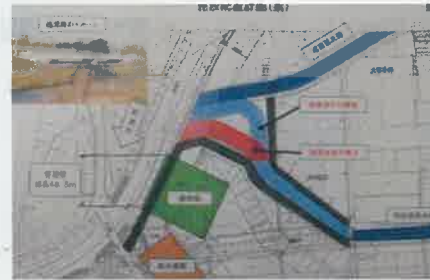
(テレビ埼玉のニュースより)

治水対策

声を寄せて頂いていた、久喜市菖蒲町新堀地区や小林地区の治水対策が動き出しました。同地区は長年に渡り、大雨の際に度々河川があふれ水害被害をもたらせていました。

対策は久喜市菖蒲町を流れる「野通川」「沼落悪水路」「附廻堀悪水路」の河川水が増水した時に、一旦、水を小林調節池に溜めて河川の水量が減った後に戻すものです。

令和4年度からは本格的な工事に入る計画です。



県民・市民目線の政治を目指し埼玉県内で県議会・市町村議会議員選挙に立候補を目指す人を発掘するために、「無所属県民会議」で「新人発掘プロジェクト」を開催しました。

広く県民に呼びかけ、県内から様々な経験を持つ17名が参加し全8回の研修を修了しました。



所属会派「無所属県民会議」でコロナ関連の要望を3回、皆様の声を基にした来年度予算要望を知事に提出し実現を求めました。また、感染症対策を十分に行った上で、県内の県事業視察や課題になっている事項について勉強会を重ねました。



今回ご紹介したように市民の皆さんが政治や行政に関心を持てば、和光での暮らしはもっと良くなります！そして5月には4年に1度、最も市民の意見を和光市政に反映できる機会がやってきます。それが**和光市長選挙**です！



令和3年 和光市長選挙

5月16日(日)告示

5月23日(日)投票日

期日前投票期間…令和3年5月17日(月)～22日(土)

～市長を決めるのはあなたです～

TOPIC 3 特別対談 **和光新時代は女性リーダーで！**

しばさき光子

Mitsuko Shibasaki

Wataru Inoue

井上わたる

「誰もが輝ける和光市をつくる」ことを目指して活動をスタート

井上/ しばさきさんのプロフィールを簡単にお伺いしてよろしいでしょうか？

しばさき/ はい。私は和光市生まれ、和光市育ちの現在46歳です。農業を営む両親と2人の妹、祖母との6人家族で育ち、白子小学校を卒業しました。その後は高校まで都内の女子校で学び、学習院大学では経済学部で国際貿易や国際経済を専攻しました。社会人になってから税理士として税務・財務を長年担当してきました。

井上/ お父様は、南の「柴崎ブルーベリー農園」を営んでらっしゃるんですね。我が家もよく柴崎農園のブルーベリージャムを食べています。

しばさき/ ありがとうございます(笑)なので、私にとって農業は幼い頃からとても身近な存在でした。

井上/ さて、そんなしばさきさんが和光市政に関心を持つようになったキッカケは何ですか。

しばさき/ 平成26年から3年間、和光市監査委員として市の会計監査に携わりました。この時に生まれて以来住んでいた地元・和光市の事情について、主に財政を通して見つめることになり、和光市の財政状況や将来に対する関心、そして、今後どのように自分が関わっていきけるかを考えるようになりました。

井上/ 今、コロナ禍で和光市の財政も非常に厳しさを増しています。そのような中で、しばさきさんのように財政に強い方が政治に携わることを是非とも期待したいです。

話は変わりますが、4月4日には東京都小平市で初の女性市長が誕生しました。また4月11日には兵庫県宝塚市で2代続けて女性市長が誕生しました。しかも宝塚の新市長は議員経験のない方が就任されています。こうした女性首長の活躍をどう考えますか？

しばさき/ 現在、過去に比べて子育てや福祉・災害時対応など様々な分野でより多様な視点が必要になっていると感じます。その中で女性が首長を務めることで見落とされていた課題に丁寧に向き合うことが出来れば、女性も男性も「誰もが輝ける和光市をつくる」ことに繋がるのではないかと思います。

井上/ ありがとうございます。最後に市民の皆さまに向けてメッセージをお願いします。

しばさき/ 将来が不透明な時代を生きる私たちは、不透明だからという理由で諦めてしまうことがたくさんあるかもしれません。例えば、出産、子育てや進学などです。そういった「少し頑張れば手の届きそうなこと」を、希望する人皆が手にできるよう行政としてお手伝い出来る、そんな和光市にしたいと考えております。

和光市は、女性議員は以前から多く活躍されていて、私も市議会議員時代には多くの女性議員に指導してもらいました。一方で、明治時代の村長から今の松本市長に至るまで**和光市には女性市長はこれまで一人もいません。和光市も新しい時代の転換点に来ているのだと思います！**



発行元連絡先 **埼玉県議会議員 井上わたる事務所** (埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部) / 井上わたると新しい和光をつくる会 討議資料

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18 アントワープ平岡503号室 TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854 E-mail: inoue_airline@yahoo.co.jp

架け橋プロジェクト特集号

埼玉県議会議員 県政報告

井上わたる 配るホームページ 第77号

あなたは 211万1965 番目の読者です

前号までにお届けした枚数です

私の県議としての活動理念である「**県を動かし和光を変える**」「**県政を身近に**」を体現する取組が「架け橋プロジェクト」です。今回はその実現事例をまとめてご紹介します！



無所属 41歳

井上わたるの 架け橋プロジェクト



新型コロナ対策など日々状況が変わる【最新情報】は引き続きネットを活用してお伝えします！

架け橋プロジェクトとは…

県政は和光市民の暮らしに様々な関わりを持っています。県管轄の県道や河川、県警管轄の信号機や交通標記などについて、市民の皆様から頂いた「声」や「要望」を県に届けるのが「架け橋プロジェクト」です。県議として和光市を代表して県と調整・交渉を進めた結果、多くの市民の声が実現しています！



TOPIC 1 最新の横断歩道新設事例をご紹介します！

信号機のLED化も実現しました

通常1つの市で年間1か所実現できるかどうかと言われている「横断歩道の新設」が、今回4か所同時に設置することが出来ました。この箇所はいずれも「和光市地域子ども防犯ネット」の通学路点検フィールドワークから挙がってきた課題の場所です。市民一人一人の声はもちろん、市内の各団体の声もしっかりと県政に届けております。

1 ベルク西大和団地店前



2 東輝橋(白子小学校側)前



3 ふれあい橋(新倉幼稚園周辺)前



4 妙蓮寺通り (新倉ふるさと民家園の坂を上ったところ)



TOPIC 2 市内各所で
架け橋プロジェクトの
実現事例が生まれています

市民皆さまの声を朝霞県土事務所や埼玉県警、和光市役所に届けることで多くの課題の解決に繋がっています。

県土①
県道と光インター線(外環側道の戸田方面)に向かう東武東上線を渡るアンダーパス部分に穴ぼこが発生。修繕工事を実施



県土③
笹目通り(県道練馬川口線)のイチョウの剪定




県土④
笹目通りの白子小付近の草刈り




県土⑤
吹上観音交差点へのガードレール設置



県土⑧
ベルク和光白子店前の歩道の安全対策
店舗側の歩道への路上駐車対策のため、暫定的にラバーボールを設置しました。(※令和3年度に正式な改良工事を行います。)また、駐車場側は抜本的な歩道改良を行い、安全対策を進めました。



その他
●荒川河川敷の修繕 荒川河川敷の砂利道の改善を求めのお声も多く頂戴します。ここは国土交通省の荒川上流河川事務所の管轄です。(つまり「国」の管轄)そこで上田清司参議院議員(前・埼玉県知事)と共に現地視察を行いました。その後、特に影響が大きい箇所などの改修工事が実施されました。(写真は視察の様子)



県土②
旧川越街道(県道新座和光線)の熊野神社付近の切通の土留めブロックの修繕



県土⑥
手すり未設置の歩道橋への手すり設置
段階的にまず片側を設置し、その後、もう片側が設置され、これで市内の県が管理する歩道橋は全て両側に手すりが付きました。



県土⑦
理化学研究所(西門)歩道橋のリニューアル工事
路盤表面の剥離など劣化が進んでいた歩道橋が安全で歩きやすくリニューアルされました。



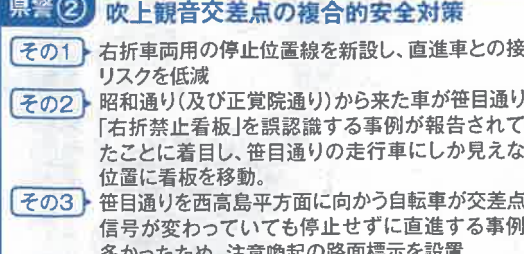
県土⑧
ベルク和光白子店前の歩道の安全対策



県警① 新倉ロータリー周辺への注意喚起看板の設置
新倉ロータリー及び柿の木坂児童公園の坂の下側へ「横断者注意」の安全注意看板の設置



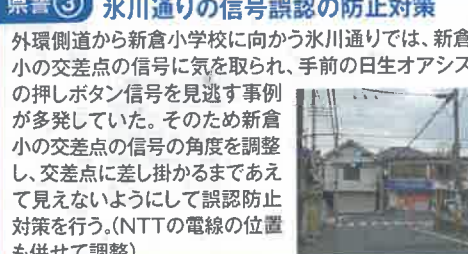
県警② 吹上観音交差点の複合的安全対策
その1 右折車両用の停止位置線を新設し、直進車との接触リスクを低減
その2 昭和通り(及び正覚院通り)から来た車が笹目通りの「右折禁止看板」を誤認識する事例が報告されていたことに着目し、笹目通りの走行車にしか見えない位置に看板を移動。
その3 笹目通りを西高島方面に向かう自転車車が交差点で信号が変わっていても停止せずに直進する事例が多かったため、注意喚起の路面標示を設置



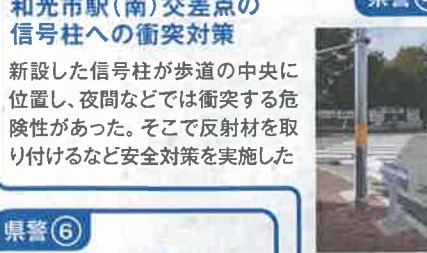
県警③ 氷川通りの信号誤認の防止対策
外環側道から新倉小学校に向かう氷川通りでは、新倉小の交差点の信号に気を取られ、手前の日生オアシスの押しボタン信号を見逃す事例が多発していた。そのため新倉小の交差点の信号の角度を調整し、交差点に差し掛かるまでであって見えないようにして誤認防止対策を行う。(NTTの電線の位置も併せて調整)



県警④ 本町地域センター前通行方向看板のアーム修繕
本町地域センター・駅前出張所の入るビルのそばに立つ「青色矢印標識」が強風で異様に風に揺れていた。県警に調査依頼した結果、標識を支えるアームが弱っていたことが判明。すぐに交換が行われた。



県警④ 和光市駅(南)交差点の信号柱への衝突対策
新設した信号柱が歩道の中央に位置し、夜間などでは衝突する危険性があった。そこで反射材を取り付けるなど安全対策を実施した



県警⑥ レクセル和光前の信号のLED化
要請を行なった箇所以外にも、市内の信号は適宜更新が行われています。



県警⑦ 丸山台交差点の信号角度調整
角度が変わり、少し見えづらくなっていた信号の調整を行いました。



県警⑧ 市営運動場の丁字路の押しボタンの交換
手元の「押しボタン機」が随分古くなり、夜でも「おしてください」などの表示がほとんど判別できなくなっていた。スイッチ本体が古くなっていたため、丁字路に設置されている5機全部を交換しました。




和光市

市道
市道案件① 旧川越街道ミニストップ付近ゼブラゾーン面標示の引き直し
市道案件② 越後山通りの陥没に対する緊急工事の実施
市道案件③ 大鷹ラーメン付近の側溝から生える低木の伐採




横断歩道①
旧川越街道と浅久保通りの交差点



横断歩道②
下新倉氷川神社と笹目通りの間の横断歩道



横断歩道③
新倉小と下新倉氷川神社の間(ベルポート前)



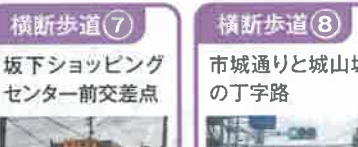
横断歩道④
新倉小学校前の変則交差点




横断歩道⑤
日生オアシス前の横断歩道



横断歩道⑦
坂下ショッピングセンター前交差点



横断歩道⑧
市城通りと城山坂の丁字路




横断歩道⑥
氷川通りと半三池通りの交差点



横断歩道⑨
向山通りと牛房通りが交わる交差点。加登屋酒店前



県や市では、自主的・定期的に道路パトロール等を行なっております。ただ点検の時期によっては長く見逃されてしまう場合もあります。だからこそ「架け橋プロジェクト」を通して、行政に現状・課題を伝えることに大きな意味があると考えております。これからもご意見・ご相談をお待ちしております。



井上



2022年 活動報告 埼玉県議会議員 県政報告

和光市の皆さまにお配りすること16年!

県議会議員としても**11年目**に突入です!

無所属 42歳



あなたは **215万0415** 番目の読者です

前号までにお届けした枚数です

わたるの配る くば ホームページ 第78号



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにも皆様には引き続き基本的な感染予防策の徹底をお願いいたします



新型コロナ対策など日々状況が変わる【最新情報】は引き続きネットを活用してお伝えします! ぜひご覧ください!



井上 ブログ



Twitter



Facebook

2月定例会 開会

令和4年度一般会計予算(案)は 過去最大の2兆2,300億円規模

2月定例会は、2月17日(木)~3月25日(金)の会期で開催されます。私は今回、**予算特別委員会**の一員として予算審査に臨みます。コロナ対策をはじめ、**県民の暮らしの安全に繋がる予算かどうか審査し**、より良い予算執行に繋がる提案を行なってまいります!



写真は前回の予算特別委員会の様子

令和4年度予算のもうひとつの注目は...

無所属県民会議の予算要望が実現したか?



私の所属する会派「無所属県民会議」では、毎年秋に次年度予算に対する要望書を提出しています。今回の要望書では「**子供の命を守る施策への重点投資**」を重点項目の1つに掲げましたが、大野知事から示された来年度の組織・定数改正案では「**新型コロナウイルス感染症対応の体制強化**」に**30名増員**、「**児童虐待防止対策の体制強化**」に**40名増員**とされており、我が会派の要望に応える形で検討が進められています。(和光市関連の要望事項は裏面に掲載しています。)

来年度予算へ 600項目を要望

県民会議、知事に提出
県議会の無所属県民会議は14日、来年度の予算へ向けた要望計600項目を大野元裕知事に提出した。大野知事は「特にポストコロナにおいて、大きな時代の変化に必要な柱を立ててもらった。施策を考へるに当たり、参考にしたい」と話した。

要望は「**新型コロナウイルス大攻撃からの回復**」「**新しい時代を切り拓く公教育の推進**」「**子供の命を守る施策への重点投資**」「**気候危機に打ち勝つ県政**」の4項目を柱とし、県政の各部署に関する605事項、所属議員の地元問題に関わる235事項が盛り込まれた。

代表の岡重夫県議は「各種団体とオンラインで話し、地元の市町村からも要望があった」とし、対応を求めた。また、新型コロナウイルス感染症対策については「第6波を心配し、医療体制もしっかりと準備をしておくべき」と話した。(坂口菜摘)

令和3年10月15日 埼玉新聞



予算要望書提出の様子。会派の政調会長として要望書の取りまとめに携わりました

こうした会派の活動を伝えるべく...

初の「会派レポート」を作成しました!

これまでも会派の活動をお伝えしてきましたが、この度、**会派として“初”の全県向け広報紙**を作成しました。既に新聞折込やポスティングでお配りしていますが、部数の都合でお届けできていないエリアもございます。是非、会派ホームページからご覧ください。



無所属県民会議

QRコードはこちら▶

県を動かし和光を変える

予算要望書には、和光市に関する「地元要望」も掲載しています。長期的な事業も多いため要望して終わりではありません。予算の確保・事業の実現に向けて、大野知事へ提言を重ね、そして柴崎光子市長と連携して和光市を一層光り輝かせられるように取り組んでまいります。



様々な地元要望を大野知事へ直に届けております

5月に就任した柴崎光子 新市長とは新型コロナ対策をはじめ、常に連携を取りながら活動しております。



2021年7月22日 駅頭でのキャンペーンの様子▶



広報わこう2021年10月号より

共に現場に出向くこともあり、例えば昨年、千葉県八街市で発生した下校中の交通死亡事故を踏まえて、県と市で緊急の「通学路の安全点検」を行い、柴崎市長や私も参加しました。この安全点検を活かして来年度対策が進められる予定です。

これからも「県と市のわたる架け橋」として、市民の声を県政に届けてまいります!



令和4年度 和光市・地元要望

- (1) 国道254号和光バイパス延伸の早期着手
- (2) 新河岸川流域の浸水被害の解消と治水安全度の向上を図るよう、新河岸川等の整備を推進すること
- (3) 急傾斜地崩壊対策事業として採択された白子三丁目地区の事業を推進すると共に、被害のあった土砂災害特別警戒区域だけでなく他の特別警戒区域についても対策を講じること
- (4) 朝霞保健所の機能強化(保健所の人員及び予算の拡充を図ること。市町村と連携し、本来の「地域における感染症対策の司令塔」として役割を果たすこと)
- (5) 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの趣旨に賛同し積極的に取り組む和光市に対して事業フェーズに応じた支援を実施すること
- (6) 県道和光インター線の新倉ロータリー(外環側道部分・大泉方面)と和光市駅北口区画整理地と接続する交差点への信号機の早期設置
- (7) 県立和光樹林公園への子供向け複合遊具の増設
- (8) 羽田空港新飛行経路の固定化回避に向けた取組に県として積極的に関わること

解説はこちら

解説 「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」って何?

大野知事が2019年の知事選で掲げた公約の一つ。超少子高齢社会の様々な課題に対応するため、コンパクト・スマート・レジリエントの3つを要素とする持続可能なまちづくりに市町村とともに取り組む埼玉県のプロジェクトのことです。

1月末に「プロジェクトに取り組む11市町」が発表され、和光市もその中の1つに選ばれました。(今回の11市町は第1弾。今後追加される可能性あり。)

和光市の提案の軸は「新たに和光市駅北側の交通拠点と、外環和光北インターチェンジ周辺の産業拠点を整備するとともに、これらの拠点を結ぶ自動運転サービスと既存の公共交通ネットワークを連結させスマート交通システム(和光版MaaS)を構築する」というものです。

自動運転技術の活用は他市でも実現に向けた検討が続々と進められており、今回選定された11市町のうち、和光市を含めて8市町を数えます。今から動き出すことは、決して早過ぎるということはありません。

私も前回の一般質問で和光市の提案の軸である「新倉PAの拡張の推進」や「和光版MaaS(自動運転技術の活用等)」や「254バイパスの延伸」について取り上げ、大野知事からも「出来る限りの協力を」と答弁を得ております。今回の県のプロジェクトに位置付けられるということは、その市町村を「埼玉県もしっかりと支援します」ということを意味します。これからも和光市の将来や市民にとって必要なまちづくりが実現できるよう取り組んでまいります!



プロジェクトに取り組む市町村一覧



赤字の自治体は、自動運転技術の活用検討をしている市町村です

市町村名	プロジェクトの名称
さいたま市	スマートシティさいたまモデルの推進
熊谷市	熊谷スマートシティ
秩父市	秩父市移動支援プロジェクト～未来へ紡ぐ結いまち～
入間市	入間市版スーパーシティ構想
和光市	和光市版スーパーシティ構想
久喜市	久喜市南栗橋8丁目周辺地区のまちづくり～BRIDGE LIFE Platform構想～
毛呂山町	毛呂山町版スーパーシティ構想
小川町	小川町版スーパー・シティプロジェクト～安心・安全な暮らしの実現～
鳩山町	鳩山NT版コンパクトシティ+ネットワークプラン 複合施設を核とした地域拠点の構築
横瀬町	「カラフルタウン」横瀬町における賑わいづくり中心地づくりプロジェクト
美里町	美里 Super Town プロジェクト

事務所移転のお知らせ

井上わたる事務所
部屋番号

5F
503号室

4F
401号室

変更
しました

- 電話番号・FAX番号に変更はございません。
- 三密回避のため、事前に電話・メール・SNS等でご連絡いただくと幸いです。
- 皆さまに買い物や外出の際に立ち寄っていただけるように、イトーヨーカドー近くのビル(さと薬局のある建物)に事務所を設けております。(エレベーターもあります)



発行元 埼玉県議会議員 井上わたる事務所
連絡先 (埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18アントワープ平岡401号室
☎048-424-3684 / FAX:048-424-3854 / ✉inoue-airline@yahoo.co.jp

井上



2020年 活動報告 埼玉県議会議員 県政報告

和光市の皆さまにお配りすること**16年!**

県議会議員としても**12年目**に突入です!

無所属 **42歳**

あなたは **218万7365** 番目の読者です

前号までにお届けした枚数です

わたるの配る ホームページ 第79号



オミクロン株よりも感染力が強いとされる別系統「BA.2」の割合が増加し、さらに新たに「XE」も確認されています。拡大防止のためにも引き続き基本的な感染予防の徹底をお願いいたします。



井上 ブログ



Twitter



Facebook

発行元 埼玉県議会議員 井上わたる事務所
連絡先 (埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡401号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail: inoue_airline@yahoo.co.jp

新型コロナ対策など日々状況が変わる**【最新情報】**は引き続きネットを活用してお伝えします! ぜひご覧ください!



身近な

和光の県政

～**県警編**～

今号から「身近な和光の県政」と題して、和光市内で県に関わる案件についてシリーズでお伝えします。初回は、信号機や交通標識などの「**県警編**」です。

TOPIC
1

歩行者用押しボタン式信号の新設事例をご紹介します!



1 第二中学校前 歩行者用押しボタン信号

① 工事中の状況



② 工事完成。あとは点灯を待つのみ。



③ 3月29日から運用開始



2 越後山通り 南大和団地南側 (ハロー越後山前)



ハロー越後山側の様子



ヤオコー和光南店側の様子



通常1つの市で、複数年に1か所実現できるかどうかとされている「歩行者用信号の新設」ですが、今回2か所を新設できました。(設置場所は裏面の■をご参照ください。)

特に、第二中学校前の信号は、以前県警から「設置見送り」の回答を受けたことがある箇所でしたが、地域の皆様の声を再び県警に届けて、改めて粘り強く交渉を行なった結果、実現に至りました。信号が設置されても、車に十分気を付けて横断歩道を渡ってください。

特集 ウクライナの平和を願って

2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、ウクライナの主権及び領土の一体性を侵害するものであり、国際秩序の根幹を揺るがす許しがたいものです。

埼玉県議会では、「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議」を全会一致で可決しました。

また、井上 が予算特別委員会で提案した「県有施設等でのウクライナの国旗色のライトアップ」は、

さいたまスーパーアリーナ

埼玉スタジアム2002

埼玉会館

の3つの県有施設で実施されています。(3月24日から当面の間)

そして、埼玉県 が実施している支援策は次の通りとなっております。 ※令和4年4月12日時点

公営住宅の確保

県営住宅37住戸
市営住宅42住戸

【市営住宅内訳】さいたま市20
行田市6・深谷市10・戸田市6

生活相談窓口

外国人総合相談
センター埼玉

対応言語:ウクライナ語、ロシア語
英語、やさしい日本語

日本語教育

日本語学習支援

地域の日本語
教室の紹介

関係団体等との連携

強みのある分野での支援
日本赤十字社埼玉支部:生活物資
埼玉県社会福祉協議会:緊急生活支援金
フードバンク・フードバンク団体:食料等
埼玉県子ども食堂ネットワーク:地域交流等

通訳ボランティアの確保

ボランティア登録者
44名

ロシア語41名 / ウクライナ語3名
(県国際交流協会)

就業・就学支援窓口

既存の仕組みを活用

- ハローワーク外国人雇用サービスコーナー
- 埼玉しごとセンター
- 女性キャリアセンター
- 県教委(帰国児童生徒等支援アドバイザー)

今後も必要に応じて支援策を検討してまいります。

TOPIC
2

県警が独自に実施した安全対策をご紹介します!

埼玉県警は、地域がより安全となるように、市民からの要望や、過去の交通事故の発生状況・事故原因の分析などを踏まえ様々な安全対策を講じています。
(地図中の★をご参照ください。)

1 国道254号線「理化学研究所西門交差点」(和光市中央1丁目7番27号付近)

対策 原動機自転車(原付バイク)の右折方法の変更

元々は「二段階右折」を行っていたが、この交差点には国道254号線の上り下り共に「左折専用レーン」があるため、むしろ危険である。そのため車と同様に右折するように変更。



2 旧川越街道(=県道新座和光線)の和光市くらし・仕事相談センター「すてっぷ」付近の交差点(和光市本町20番25号付近)

対策 横断歩道の表示補修や緑石の反射板を設置

横断歩道の引き直しや、道路管理者(県)と調整の上で、緑石の視認性を向上させるため、反射板の設置などを行った。



5 土支田交差点~光が丘高校角交差点(和光市白子1丁目2番31号付近)

対策 最高速度を「法定」から「30キロ」に規制する

生活道路的な利用もある道路なので、より安全となるよう速度規制を行う。東京都(警視庁)と調整を行い、実施された。



3 和光陸橋の下の交差点(和光市諏訪4-1)

対策 横断歩道の補修やソーラー式道路鎮の設置

横断歩道の引き直しや、道路管理者(県)と調整の上で、道路の視認性を向上させるため、の設置などを行った。



4 桃手通りの和光樹林公園~税務大学校~南公民館の区間

対策 横断歩道の補修や中央線の引き直し

視認性を向上させるため、横断歩道の引き直しやオレンジ色の中央線の引き直しを行った。




TOPIC
3

「架け橋プロジェクト」の実現事例をご紹介します!



市民の皆様や市議会議員の方々から頂いた「声」や「要望」を県に届けるのが「架け橋プロジェクト」です。県議として和光市を代表して県と調整・交渉を進めた結果、多くの市民の声が実現しています!
(地図中の●●をご参照ください。●は特に要望の多かった事例です。)

とは...

1 強風で曲がった「駐停車禁止の標識」を修繕

BEFORE AFTER



4 中央第二谷中区画整理地内の交差点の横断歩道の引き直し


中央第二谷中区画整理地内の交差点の横断歩道の引き直し(少なくとも外環側道側が全面開通するまでは、交差点への信号機の設置は困難なため、現時点で出来る対策として、横断歩道の視認性を向上させた。)



7 和光市駅南口のスクランブル交差点に「歩行者用待ち時間表示装置」が新設




2 松ノ木島交差点では、水道道路(=県道和光インター線)を板橋方面から来た車が幸魂大橋(=戸田方面)に向かう右折レーンが渋滞していた。そこで右折信号の信号サイクルを変更。「集中制御化(=周りの信号と連動)」と「右折感応化(=渋滞が長いと青の時間を長くする)」を実現



5 中央第二谷中区画整理地内(特にセブンイレブン和光下新倉店周辺)の違法駐車を取り締まり強化



8 ヤオコー丸山台店のオープンに伴い交通量が増加した旧川越街道の混雑対策を県警に要望。要望を受けて調査を進める中で、ミニストップ前の交差点の信号制御盤の不具合が発覚。制御盤の修繕が行われ、ミニストップ前と牧島酒店前の信号が正常に連動するよう改善された。



3 赤池通りの「赤池橋」付近に横断歩道を新設



6 バーディゴルフ前の一步通行出口一時停止標識を「縮小サイズ」から「通常サイズ」へ変更



9 牧島酒店前の交差点にある「浅久保通りが大型貨物自動車通行止め」であることを知らせる看板の視認性が低いため、新たに四角い標識を設置予定(※写真は既存の看板。)



10 和光リハビリテーション病院横の「時間帯車両通行止め」の視認性アップ

①路面標示の引き直し
②予告標識をより大きな長方形型に変更



11 和光樹林公園の南駐車場と大泉さくら運動公園を結ぶ横断歩道の引き直し

BEFORE AFTER



12 国道254号線と午房通りの交差点(=和光消防署白子分署付近)の横断歩道の引き直し

BEFORE AFTER



13 国道254号線と午房通りの交差点にある老朽化していた「大型貨物自動車通行止め」の標識の更新(=交差点付近を自動車で運転する際、信号を見えにくくするなど視界を悪化させていたため標識の大きさも変更)

BEFORE AFTER



埼玉県議会議員 江原くみ子

県議会 レポート

2021

地域と共に！
特別号

935 通信



止めよう コロナ差別

埼玉県マスコット「コバトン」



新型コロナウイルスを正しく理解して
一人ひとりが思いやりの行動をしましょう

新型コロナウイルス感染症に関する誤解や、偏見による差別が起きています。傷つく人を増やさない為、みんなで偏見や差別をなくしましょう。国において、新型インフルエンザなど対策特別措置法等の一部を改正する法律（令和3年2月13日施行）により、新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別を防止する規定が制定されました。一人ひとりが感染予防対策を行うのはもちろんですが、それでも感染する可能性は誰にでもあります。差別を生まない社会が命を救うことにつながります。公的機関の正確な情報を参考にしてください。コロナ禍でずっと頑張っている人へエールを送りましょう！

相談窓口

- 県人権推進課
☎048-830-2255 FAX048-830-4718
- 県の各種相談窓口
(偏見差別の防止)
QRコードをスマートフォンで読み取ってください
- 法務省みんなの人権110番
☎0570-003-110



皆さまこんにちは。外出制限や施設の利用制限など、何かと不自由な日々が続いておりますが、元気でお過ごしでしょうか。医療現場で、長期間に渡り私たちの命を守ってくださる皆さまをはじめ、私たちの安心・安全を守ってくださる皆さまのご尽力に心より感謝しております。

さて、令和3年度の予算審議が終わり、新年度の計画が決まりました。この間の活動などについて、2021年地域と共に！特別号の県政報告をお届けいたします。

新年度からは、企画財政委員会、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会に所属することになりました。また、昨年所属している議会運営委員会においては、各会派から17名が参加し、江原くみ子は、副委員長を拝命することになりました。益々頑張っていこうと思っております。今までのように直接お会いするのが難しい状況は残念ですが、何かございましたら、裏面の相談コーナーやメール、電話などにてご意見いただければ幸いです。皆さんと笑顔で会うことができますよう一緒に頑張ってみましょう！



江原くみ子 プロフィール



1970年11月15日生 A型 さそり座
♥ 3人兄妹の末っ子。深谷市生まれ。
♥ 好きな食べ物/ご飯、餃子、茶碗蒸し。
♥ 白百合幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘小学校、南中学校、県立熊谷女子高校卒業。明治大学短期大学部法律科卒業。埼玉縣信用金庫で6年間勤務の後、大学入学のため退職、大阪外国語大学開発・環境専攻(専攻語ドイツ語)へ。ケルン大学(環境先進国であるドイツ)へ留学、法政大学大学院政策科学専攻(環境コース)修了。奨学金は完済！
♥ 市議会議員を経て、2015年より埼玉県議会議員(現在2期目)

埼玉県議会議員 江原くみ子

議会運営委員会とは 議会運営委員会は、知事が提出する議案や会議の進行などについて事前に打ち合わせをし、スムーズに議会が運営できるよう調整する為に設置されています。また各会派から提出される、様々な意見書や請願の議論、調整をしています。埼玉県議会では、各会派から、その代表として17名が議会運営委員会に参加しています。



SAITAMA
PREFECTURE
SDGs

埼玉県は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



令和3年度は、日本一暮らしやすい埼玉県の実現へ

■■■ 2兆1393億6522万円 (前年度比8.1%の増加) ■■■

今年度は、過去最大となる予算編成となりました。新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、逆境を乗り越え、新しい社会を切り開く年にするとの大野知事の思いは、渋沢栄一の漢詩の一文である「勢衝青天」、大河ドラマの「青天を衝け」とも重なります。

3つの柱は ①安心・安全の強化 ②DX[※]の推進と県経済の回復・成長 ③持続可能で豊かな未来への投資

※DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、進化したデジタル技術を活用し浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念

主な取り組み

①安心・安全の強化

●感染防止と医療提供体制の強化

- ▶新型コロナウイルス感染症対策
- ▶感染拡大防止対策
- ▶新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備
- ▶病院などへの持続可能な経営支援

●危機や災害に強い埼玉の構築

- ▶県土強靱化に資する流域治水対策の加速化
- ▶災害に備えた医療体制の強化
- ▶家畜伝染病の防疫体制の強化

●県民暮らしを守る

- ▶児童虐待防止対策の強化
- ▶DV被害者等への支援
- ▶ケアラーやヤングケアラーへの支援



②DXの推進と県経済の回復・成長

●DXの推進

- ▶行政のDX
- ▶手続きのオンライン化の推進や納税キャッシュレスの推進
- ▶デジタル化によるビジネスモデルの転換支援

●埼玉の稼げる力の向上

- ▶「渋沢栄一創業プロジェクト」の推進
- ▶中小企業の円滑な資金調達などへの支援
- ▶持続可能な農業の確立

●魅力ある埼玉の発信

- ▶埼玉150周年記念事業
- ▶渋沢栄一翁はじめとする埼玉3偉人(塙保己一、荻野吟子)のPRや誘客などの観光振興
- ▶東京2020オリンピック・パラリンピックの感染症対策の徹底と、大会の機運醸成など

③持続可能で豊かな未来への投資

●埼玉版SDGsの推進

- ▶埼玉版SDGsの情報発信や参加促進
- ▶Next川の再生の推進
- ▶子ども食堂において子どものEQ(=心の知能指数)の向上

●誰もが活躍できる社会の実現

- ▶働き方改革の推進(県内企業へのセミナーやテレワーク拡大への支援)
- ▶LGBTQなどの多様性の理解促進とアライ(=当事者でない人が性的マイノリティを理解し支援する考え方)の見える化
- ▶子どもや若者の国際交流(世界のSAITAMAプロジェクト)

●未来を見据えた基盤づくり

- ▶埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進
- ▶あと数マイルプロジェクトの推進
- ▶県立高校の再編整備・特別支援学校の整備

皆さまはどのように考えますか？

「エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が



埼玉県で今年10月から施行されます！

- 総務県民生活委員会の審議における、さまざまな議論を経て、わが会派は修正案を提出し、江原くみ子が提案説明、及び答弁しました。以下は、無所属県民会議としての基本的な考え方の要点です。
- そもそもエスカレーターの安全な利用は促進すべきであり、当然守られるべきものであると考えます。しかし、「急いでいる人のために片側をあけていること」が日常化し、エスカレーターを歩くという慣例となっています。県民にとっては明確な規定や、安全利用に対する認識不足があります。このような状況において、条例化、しかも「義務規定」という内容は、県民の意識から大きく乖離していると思いませんか。「条例化」すること自体がインパクトを与えること、更に、県や事業者が様々な啓発活動をしている点などを踏まえると、全て「義務」として規定していることに違和感を感じます。
- 私たちは、具体的には第5条の「利用者の義務」は、「利用者の努力義務」に、第6条の「管理者の義務」は、「管理者の努力義務」と規定するのが妥当であると考えます。

- エスカレーターの安全な利用についての調査は、国や都、関係業界において既にあります。安全性が確保できる共通の見解として、特に重要なことは、本案の「立って利用する」だけでなく、「手すりにつかまり、立って利用すること」であるとされており、ガイドラインも策定されています。
- エスカレーター事故原因の主要なものは、通常利用より、酩酊状況での利用時が大きな割合を占めていることは、数字として明らかです。にもかかわらず、その重要な点が盛り込まれていないのは大変残念な条例であると考えます。
- 本条例は、いわゆる理念条例ではありません。県民の生活に直接かかわる条例制定において、まずは「努力義務」として、また、現状を踏まえた分析や、安全性を確保する為には、手すりにつかまり立って利用すること、更に、主な事故原因などに明確に対応した条文規定であることが大切であると考えますが、本議案には、残念ながらそのような対応はありませんでした。本年10月から施行されます。皆さま是非、安全な利用を心がけて下さい。

渋沢栄一賞

優れた経営と社会貢献企業へ

近代日本経済の父と称される渋沢栄一は、論語を模範とし、「道徳と経済の合一(両立)の重要性を唱えました。その精神に基づき、500を超える企業の設立などに携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも積極的に取り組みました。埼玉県では、平成14年から、県の偉人・渋沢栄一翁の精神を今に受け継ぐ全国の企業経営者に「渋沢栄一賞」を贈呈しています。

第19回受賞者

株式会社サンリオ
代表取締役会長
辻 信太郎 氏

株式会社ドトールコーヒー
名誉会長
鳥羽 博道 氏 深谷市出身!

ヤマモリ株式会社
代表取締役社長執行役員
三林 憲忠 氏

もう一度、感染症対策をしっかりと見直しましょう!



新型コロナ感染対策も、一年が過ぎようとしています。しかし、感染力の高い変異株が広がりを見せています。今こそ、感染を拡大させない取り組みが重要です!もう一度確認をしましょう。

マスク着用・手洗い

口と鼻をしっかりと覆い、マスクは紐の部分に触りましょう。手洗いは頻繁に洗いましょう。



3密回避

覚えていますか。密閉・密集・密接が3密です。換気はしっかりと頻度は2時間に一度、集まりは極力少人数で、会話・発生・運動などの際には十分な距離を保ちましょう。



テレワーク・リモート会議

仕事においても、プライベートでもできる範囲で遠隔で行いましょう。



■路上・公園などでの飲酒・飲食は控えましょう!■

新型コロナワクチン接種について



●ワクチン接種の本格化はGW以降になる予定です。接種は、医療従事者、高齢者(※昭和32年4月1日以前に生まれた方)、基礎疾患がある方、一般の方の順に進めます。開始当初は、実施市町村や接種する人数に限られますが、順次拡大していきます。国から供給されるワクチンは、GW明けから供給・接種が共に広がり、7月位までは高齢者向けの接種が行なわれる予定です。順次ワクチンは供給されますので安心してお待ちください。

《接種の流れ》◎ワクチンは2回の接種が必要です

- STEP 1 まず「接種券」と「接種のお知らせ」が届きます。
- STEP 2 接種が受けられる場所を確認します。
- STEP 3 その後、接種可能時期を確認し、電話やインターネットで事前予約をします。
- STEP 4 ワクチンを受ける際には、接種券と本人確認書類を持参します。接種費用は全額公費(無料)で受けられます。接種券は2回終わるまで必要ですので、なくさずにお持ちください。



ワクチンについてのギモンあれこれ



- Q ワクチン接種を受ける際に気を付けることは?
A 原則として、体調がよいときに接種を受けましょう。普段と体調が異なるときや調子が悪いときは接種をお控えください。
- Q 接種後の副反応はどんな症状があるの?
A 約8割の人に、接種後の痛みなどがありますが、その他には、だるさ、腫れ、発熱、筋肉痛、関節痛、頭痛、発疹などが報告されています。
※医薬品・食物アレルギー反応の経験のある方やアレルギー疾患のある方、基礎疾患のある方、予防接種に対して不安のある方などは、事前にかかりつけ医にご相談ください。
- Q ワクチンにはどんな効果があるの?
A 発症を予防出来るほか、感染しても症状が軽くなる効果が見込まれます。
- Q どんな服装でいけばいいの?
A 接種時に上腕を出しやすい服装でお願いします。
※肩に近いところに接種しますので、うでの部分が緩い服がよいでしょう。
- Q 副反応によって生活に支障をきたす健康被害が生じた場合は?
A 医療機関で治療が必要になった場合、『予防接種法』に基づく救済が受けられます。

埼玉県相談窓口

- 新型コロナウイルス全般 埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター ☎0570-783-770 (24時間/土日・祝日も対応)
埼玉県では、様々な相談先を一本化し、新型コロナウイルス感染症に関する様々なご相談に一元的に対応しています。
- ワクチン接種後のご相談 埼玉県新型コロナワクチン専門相談窓口 ☎0570-033-226 (24時間365日対応)
- ◎お電話が困難な方はファックスでどうぞ▶ 保健医療政策課 ☎048-830-4808

★以下は、予約専用となっています。予約以外の相談等は一切出来ませんのでご注意ください。

- 深谷市
 - 深谷市新型コロナウイルスワクチン接種専用コールセンター ☎0570-003-065 (8:30~17:15土日・祝日も対応) ※7月1日以降は、祝日を除く平日のみ
 - ワクチン接種会場: 岡部公民館・花園公民館・あねとす病院・皆成病院・深谷中央病院・菊池病院・北深谷病院・桜ヶ丘病院・佐々木病院
- 寄居町
 - 寄居町ワクチン予約専用コールセンター ☎0120-305826 (月曜~金曜9:00~16:30)
 - ワクチン接種会場: アタゴ体育館(木曜日と日曜日を中心に実施)・協力医療機関による個別接種を実施予定
 - 問合せ: 健康づくり課(新型コロナ対策班) ☎048-581-2121
- 美里町
 - 児玉郡市新型コロナウイルスワクチン接種予約センター ☎0570-200955
 - 美里町新型コロナワクチン接種問い合わせ窓口 ☎0570-019-007



一般質問 ダイジェスト

江原くみ子議員は、埼玉県議会としては、初めて一問一答方式を導入しての一般質問をいたしました。議員側・執行部側ともに様々な対応の連続でしたが、結果として、見てくださる県民の皆さまにとって、分かり易い方式になったと思います。より身近な県議会にするために、これからも試行錯誤は続きますが、引き続き頑張りたいと思います。もちろん皆さまから頂戴したご意見やご要望などをしっかり、県政へ反映していきます！

■ 渋沢栄一をブームで終わらせない

大河ドラマ放映や、報道等の露出も日増しに多くなり、メディアが取り上げていますが、埼玉県が施策をおこなう意味は、別であると思います。これまでの一連のPRや様々な施策は、県民が郷土の歴史や、埼玉県の偉人が残してくれた功績に興味を持ち、語り継いでいく、後世に伝えていくことこそ意味があると考えます。渋沢栄一翁は、郷土の歴史や、功績を残した人を深く知ってもらう入口であり、郷土の偉人を通して、地域を学び、郷土愛を育み、そして地域の誇りを高めることこそが県の役割なのではないかと考えます。

◇ 庁内連携強化に知事のリーダーシップを！

江原議員

渋沢栄一の事業については「庁内連携プロジェクト会議」で情報共有し、それぞれの施策実施時期の調整を図るなど、県庁の一体的な体制は整いつつあります。それでもまだ、県として渋沢栄一翁を認知してもらう取組は十分ではなく、さらに積極的に進める必要がありますが、例えば、県独自のPRポスターはまだありません。県有施設や県立高校すべてに県独自のポスターを貼るなど、各部署が連携した取り組みが出来ないのか伺います。



県の有料施設は沢山あります。例えば「川の博物館」や「こども動物自然公園」、「さいたま水族館」など、主に子どもが利用する施設と、「近代美術館」や「歴史と民俗の博物館」など主に大人が利用する施設のチケットが新一万円札をイメージしたもので発行されれば、大河ドラマに関心のある人も無い人も、子どもも大人も、様々な層をターゲットにでき、注目されると思います。加えて、チケットの裏には、人生の支えともなる渋沢の名言を入れたり、チケットに通し番号をふって、埼玉県産品のプレゼントが当たるなど、様々な要素を詰め込んではいかがでしょうか。

大野知事

一過性のブームにせず、より深く知ってもらうと共に、郷土愛を育むために部局横断的に取り組み、全庁を挙げたPRが重要です。県独自ポスターの提案など頂いたが、県有施設はもちろん、市町村や金融機関にも掲出いただくなど、渋沢翁の認知度の更なる向上を図っていきます。私が指示して再編した「庁内連携プロジェクト会議」の枠組みを最大限活かし、様々なアイデアから、議員のご提案も参考にしながら、実現可能なものから実現したいと思います。

実現しました！

県独自のポスターを作成し、今後、県内の様々な施設に掲出されます。楽しみに！

◇ 子どもたちの学びに渋沢栄一を！

江原議員

深谷市では、郷土の学びの中で渋沢栄一翁を学びます。渋沢翁の精神に触れることで、人生の様々な困難を乗り越えられる強さが得られると思います。そこで、県内小・中・高校へ専門家の派遣事業をおこなうのはどうでしょう。地元には沢山の渋沢研究家や団体があります。そうした方たちのご協力で、出前講座的な派遣事業を行えば、先生の負担もなく、渋沢栄一の精神を広めることが可能です。

また、経済人として渋沢は多くの名言を残していますし、多くの経営者は渋沢翁の本を読んでいます。県内で将来を担う子どもたちにも、渋沢翁を知るきっかけとして、渋沢翁の人生観や経営、経済、歴史、漢詩など、手軽に渋沢関連書籍を手にとることができる環境づくりが必要だと考えます。場合によっては漫画もありだと思いますが、市町村の学校図書館に渋沢関連書籍を置くよう呼び掛けたり、各県立高校の司書が選んだおススメの渋沢関連書籍を配架をするなどについて見解を伺います。

教育長

渋沢栄一翁の教えから児童生徒が学ぶことは多いと考えます。小中学校については、市町村が集まる会議などにおいて、県内の偉人を知るためのコーナーの設置や伝記などを多く読んだ児童生徒に賞状を出すなどの事例を含め、渋沢栄一を始めとした本県の偉人に関する本を学校図書で取り扱うよう働きかけます。

また、全ての県立高校に司書を配置していますので、司書の研修会などで、各学校のニーズや特色に応じた渋沢関連書籍を配架するよう促していきます。

◇ 豊富な人材と所蔵の品を生かして

江原議員

「青天を衝け」は、逆境に負けることなく立ち向かう姿を想起させますが、若き日の渋沢栄一が詠んだ漢詩が由来です。資本主義の父や経済で有名な渋沢翁ですが、実は書家としても功績を残しています。県でも150周年事業として様々な展示が行われます。深谷市では、継続して展示会などを行っています。県において今後も継続的に展示をすることで、さらに県民に深く知る機会となります。今後も特別展や常設展などを継続していくことが大切だと思います。

教育長

大河ドラマの放送は、本県の歴史や文化を広く発信する絶好の機会であり、渋沢栄一翁を深く知る入口になると考えます。大河ドラマ放送終了後についても、より多くの方々に渋沢翁を始めとした郷土の偉人や歴史の理解を深めてもらえるよう、継続した展示を検討していきます。

■ 骨髄移植ドナー登録を更に増やすために



池江璃花子選手が、自身の経験から、献血や臍帯血、骨髄バンク登録などへ働きかけから、骨髄バンクの社会的認知も広がっています。彼女の活躍は、血液のがんは治るというメッセージと共に、骨髄移植ドナー登録者を増やす活動=命を救う活動であることを物語っています。日本には移植を待っている方が年間二千人を超えています。治る可能性が高い病気だからこそ、更に多くの方にドナー登録していただく活動は大切です。

◇ 骨髄移植ドナー助成制度の見直しすべき

江原議員

埼玉県は全国で初めて骨髄ドナー提供者へのドナー助成制度を始めました。これは、ドナー登録者が骨髄を提供する時、会社や仕事を休む場合に県が概ね一日2万円を補助する制度です。現在63市町村全てで補助制度が運用されています。骨髄を提供する為には概ね3~4日の入院と、その前の検査や健康診断が必要になります。ここで問題となるのが、ドナー休暇がある会社でも、入院のみが対象であることが多いのが現状です。しかも埼玉県の助成制度は、企業にドナー休暇制度があると、市町村へは助成制度を申請できない仕組みのため、骨髄提供の前に行う検査や、健康診断などは対象外になります。職場にドナー休暇制度がある方でも、対象とならない日数もカバーできるように制度を改善すべきと考えます。骨髄提供をさらに後押しする仕組みに見直すべきと考えますが、見解を伺います。

保健医療部長

現在、県内全域で助成が受けられるよう、全市町村が骨髄移植ドナー助成費補助を制度化し、県と市町村の補助制度を整備してきましたが、企業にドナー休暇制度がない場合の不利益を補うものとして実施してきました。そのため議員ご指摘の、対象外となる検査や健康診断のための有給休暇を利用した日にちについても補助対象に含めるよう、検討が必要です。県としては、県要綱を整理し、市町村との調整を進めてまいります。

実現しました！

市町村との調整をおこない、順次制度変更することになりました！今までドナー休暇の対象とならない日数も、今後はカバーできるようになります(^.^)。

◇ ドナー休暇制度を増やすべき

江原議員

企業では、骨髄を提供する場合、通常の有給休暇とは別に、骨髄を提供する時に使える「特別休暇制度」があります。この制度は、会社にとっては社会貢献に、社員にとっては、骨髄を提供することを後押しするものです。現在全国では649社が特別休暇制度を導入している中、埼玉県は全国第5位の人口にもかかわらず、わずか13事業所と少し残念です。県としても、県内企業にドナー特別休暇を導入するよう働きかけるべきと考えますが、見解を伺います。

保健医療部長

ドナー休暇制度の導入は、ドナー候補者が企業や団体で働いている場合、理解を得やすくなる環境整備という意味で大変重要だと考えています。実際にはドナー候補になっても6割の方が辞退していると聞いています。辞退される方を減らすためにも企業や団体がドナー休暇制度を導入することが有効な為、日本骨髄バンクと協力し、今後は県内企業や団体へ働きかけていきます。

◇ 活動団体を支援すべき

江原議員

骨髄バンクへの登録数を増やす為に、登録説明員が必要です。献血とは異なり、ドナー登録前から骨髄移植後の内容まで、様々な項目についての説明を受けないと登録できない仕組みだからです。登録者数を増やすために、説明員はボランティアという形で、地道な努力と活動を続けています。日本骨髄バンクからの配布がありますが、活動に使う資材などパンフレットも、会費や手作り小物等の販売金を充てています。命を救う活動である骨髄バンクドナーを増やす団体の活動補助などの継続的な支援をしていくべきと考えますが、見解を伺います。

保健医療部長

骨髄バンクの活動は地道なボランティア団体に支えられていることは承知しています。ボランティア団体の活動も、登録説明員の方々の力に追うところが大きいことも理解しています。県としては、登録説明員養成を進める他、連携して活動などもさせて頂いています。団体の主体性を保ちつつ、新たな活動を展開する際には積極的な支援をしていきます。

■コロナ後の県庁の働き方について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の必要から、とりわけ普及が進んだのが、テレワークです。とはいえ、本来、業務プロセスの見直しが欠かせないもので、どんな業務がテレワーク向いているのか、どんな業務には導入できないか、導入することでどんな業務が減らせるのか、という検討を経た上で、ルールやツールを導入し、徐々に組織のあり方を変革していくものだと考えます。1年間の試行錯誤や実績を、しっかり組織として生かし、形骸化させてはいけなさと考えています。

◇テレワークの推進について

江原議員 現状は、『埼玉県テレワーク「試行」実施要項』によるもので、まずは「試行」を取る必要があります。この1年で進んだテレワークを、今後どう活用していくのか、それとも以前の県庁に戻ってしまうのか、埼玉県庁が県内企業のお手本となり得るような組織体制を作りたいという思いを込めて、これまでのコロナ禍におけるテレワークの実績や普及をふまえ、コロナが収束した後も県庁のテレワークを働き方改革として積極的に推進していくつもりか伺います。



総務部長 去年2月からテレワークを実施していく中で、テレワークに向いている業務と、個人情報の取り扱い業務なども次第に分かってきました。まずは紙資料の電子化や業務のデジタル化が不可欠です。また、持ち出し可能なパソコンへの切り替えや、在宅勤務環境の整備、労務管理のあり方なども確立していかなければなりません。これらの課題解決を図りながら、早期に本格実施出来るよう取り組みます。

◇ICT環境の課題解決にむけて

江原議員 県で実施してきたテレワークは、在宅勤務、モバイルワーク、サテライトオフィス勤務などが挙げられます。しかし、限られたアカウント数での遠隔操作によるリモートワークであるため、希望する職員すべてに対応できず、ネットワークが不安定な状況が各所で発生していると等の問題もあります。これまでの様々な課題を解決し、テレワークを進めていくには、ICT環境の整備が非常に重要であると考えますが、具体的にどのように課題を解決していくのか伺います。

企画財政部長 県では、自宅から安全に遠隔操作できるシステムを導入しています。現在8000ライセンスまで拡充したところですが、パソコンについては、リース満了時に合わせて、順次、通信機器SIM内蔵のモバイルパソコンに更新し、既に導入したパソコンについても、外付けSIMを導入し、町外利用可能なパソコンを拡充します。また、テレワークやウェブ会議の拡大による通信料の増加に対応していきます。サテライトオフィスについても、新たに浦和美園駅にオフィスを新設し25席から40席に増加し対応しています。今後もテレワーク推進のための環境整備を進めていきます。

■あなたの時間を倍にする「聴く本（オーディオブック）」の導入を！



江原議員 今回提案したいのが「聴く本（オーディオブック）」です。

ドイツに留学中に聴く本をよく利用しました。音楽を聴くのと同じ要領で、自転車で大学に行く途中に「聴く本」、掃除をしながら「聴く本」、洗濯をしながら、料理をしながら、様々な場面で「ながら読み」ができるので、かなり便利に利用していたと記憶しています。まさに今、私たちの生活にマッチしたもので、大きさに言えば、24時間が48時間になるのです。最近では、アマゾンや飛行機の機内でも、オーディオブックは時間を有効に使える事で広く知られ、八王子図書館や奈良図書館では、聞く本は導入されています。また、忙しい時代だからこそ、図書館へ足を運ばなくても借りられる「聴く本」のニーズがあると思います。また、県立点字図書館では、点字図書と、デジタイズ図書を所蔵しています。デジタイズ

図書とは、視覚障害をお持ちの方のための音声図書であり、まさに「聴く本」です。しかし、利用は、基本的には視覚障害者に限られています。

視覚障害者へのサービス拡大はもちろんのこと、文字を読むことが難しくなっている方にも、もちろん一般の方や学生もオンライン手続きで利用できる「聴く本」の可能性とニーズは今後計り知れないと思います。コロナ禍で子供たちの視力低下などの問題も含め、多角的な視点で是非、県立図書館に「聴く本」を導入すべきと考えますが見解を伺います。

教育長 オーディオブックについては、新しい読書スタイルとして注目されています。県内の図書館に導入事例はありませんが、来館不要で借りることができ、今後ニーズは高まるのでは無いかと考えます。また県立図書館には、市町村立図書館では行えないサービスをモデル的に実施する役割も期待されています。システム改修などの課題はありますが、オーディオブックの導入を含めたデジタル資料の提供や非来館型サービスの充実は重要であると考えていますので、今後の県立図書館の役割や機能の議論の中でしっかり検討していきます。

■移動交番車について

来年度から少数勤務体制の交番の見直しや、治安情勢などに対応した交番の適正配置、警察官OBによる交通相談員を含む警察官の効果的配置が全県で進められます。県内にある交番を、250から243に減らす予定ですが、交番と同じ、または交番以上の意味を持つものとして、移動交番車があります。千葉県は、全国で最も多く導入し、積極的に活用しています。千葉県だけでなく、最近、他県でもこの移動交番が注目され、活用が増えていきます。

◇移動交番車の効果を発揮する条件とは

江原議員 石川県は、機動力を生かし地域の安心安全を高めることを目的に2019年に導入され、香川県では、移動交番車にラッピングを施し、今年度から運用を本格化しています。また、神奈川県でも、交番廃止に伴う利便性が低下を防ぐために、ワゴンタイプのアクティブ交番を配備予定です。他県の状況などを参考に、どの様な用途や地域ならば有効だと考えるか、警察本部長の見解を伺います。

警察本部長 移動交番車の機動力を踏まえ、交番から離れた地域や犯罪の多発地域においてのパトロール、観光客が集まる各種イベントや祭礼等の警備など、平素の地域警察活動を強化する必要がある場合に運用することが有効であると考えます。

◇運用の可能性は

江原議員 埼玉県は18台の移動交番車を保有しておりますが、県民には運用されていること自体が知られていないように思います。香川県警では、人口あたりの交通事故数の増加を減らそうと導入したとのことですが、カラフルにペイントされた移動交番車でおこなうことで、パトカー警らとは全く違う警察のイメージを与えたり、県民に身近に感じてもらうなど、違ったPR効果がはかられています。移動交番の運用をどう考えるのか伺います。



警察本部長 これまでも、ショッピングモール開業時や、住民からのパトロール強化の要望により、移動交番を開設した例はあります。大雨による災害時に、駐在所が浸水被害を受け、その代替として事例があります。今後もその特性を踏まえた効果的利用に努めてまいります。ラッピングなどを施す等した運用も承知しております。

この他、生徒の学力や先生の指導力が低下している状況や、優秀な人材が県北を離れてしまう問題、県北部の地盤沈下の危機感といった問題意識のもと、**■〈県立高校の再編整備に発想の転換が必要であるとの質問〉** **■〈増加する計画策定への対応〉**について、**■〈国の法律に基づく計画策定の問題点〉**について質問しました。また、職員のICTスキルを踏まえた人材配置については、**■〈効果的な人材配置をすべき〉**について **■〈体系的なICT教育・研修をすべき〉**について質問しました。

Tokyo2020大会に向けて

頑張る選手を応援する

子供たちの作品を募集します！

埼玉県は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げ、選手を応援する子供たちの作品を募集します。作品は、加工し、県内の競技会場やイベント会場周辺に飾ります。

〈応募期間〉2021年4月30日(金)から6月11日(金)まで

〈応募要件〉2002年4月2日から2015年4月1日生まれの県内在住または在学している人

〈テーマ〉東京2020大会に向け頑張る選手を応援しよう

〈応募作品〉絵画・書・工作物などの制作作品をスマホやデジカメで撮影した画像データ

〈応募方法〉4月30日に開設される応募フォームから応募してください。

〈記念品〉抽選で100名に東京2020大会グッズをプレゼントします。

〈問い合わせ〉県オリンピックパラリンピック課 ☎048-830-2872 (土日祝日を除く)



■「青天を衝け」ポスターできました!

935 活動報告

コロナ感染症対策を行いながら、非接触を最優先で頑張っています!



■「青天を衝け」お礼チケットも提案しました!



■沢村栄一翁のアンドロイドと共に



■アリオさんにて、おうちに帰ろうキャンペーン



■今年も感染症対策をしながら節分祭



■地域のごみ拾いへ



■防犯夜回り活動



■コバトもしっかりマスク



■コロナ禍でも献血&骨髄バンク登録をお願いします!



■岡部分署・川本分署・藤沢分署・豊里分署のリニューアルが完了しました!



■深谷ねぎを都内で売りまーす!



江原くみ子 県政事務所

〒366-0824 深谷市西島5丁目8-17 Y's Precious I 101
TEL&FAX.048-598-6706 E-mail:info@eharakumiko.net



コロナはもちろん!何でもOKです!
県政についてのご意見・ご要望をお寄せください

お手数おかけいたしますが、切り取ってファックスでお送りください。
FAX.048-598-6706 935通信 2021 特別号
※いただいたご意見の個人情報は厳重に取扱い、適正に管理させていただきます。



埼玉県議会議員 江原くみ子

県議会 レポート

2022年
ウィズコロナ号
I

935

通信



皆さまこんにちは。お元気でお過ごしでしょうか?「まん延防止等重点措置」が終了し、私たちの日常が少しずつではありますが戻ってきている様に感じています。もちろん、感染拡大防止への配慮は継続しながらも、初夏を感じる時間をみんなで過ごせるようにと願っています。

さて、この間の江原くみ子の活動について、県政報告935通信を作成しました。今回は「2022年ウィズコロナ号I」となっておりますが、次の世代へ向けた取り組みなど、ポストコロナを見据えた取り組みも重要であると考えます。ご笑覧くださいませ。

心機一転、6月議会から、『文教委員会』『人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会』に所属することになります。教育に関わる委員会です。教育分野でもコロナ対応を含め、課題は山積しています。将来の子供たちのため、教員の環境改善、向上等について、新たな発想や視点を持ち、提案していきたいと思っております。皆さまからのご意見を形にすべく、益々頑張っております。ご意見や要望など、是非お寄せ下さい。

最後になりますが、健康には十分ご留意いただき、お元気でお過ごしください。よろしくお願いいたします。



埼玉県議会議員 江原くみ子

江原くみ子 プロフィール

- 1970年11月15日生 A型 さそり座
- ♥ 3人兄妹の末っ子。深谷市生まれ。
- ♥ 好きな食べ物/ご飯、餃子、茶碗蒸し。
- ♥ 白百合幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘小学校、南中学校、県立熊谷女子高校卒業。明治大学短期大学部法律科卒業。埼玉縣信用金庫で6年間勤務の後、大学入学のため退職、大阪外国語大学開発・環境専攻(専攻語ドイツ語)へ。ケルン大学(環境先進国であるドイツ)へ留学、法政大学大学院政策科学専攻(環境コース)修了。奨学金は完済!
- ♥ 市議会議員を経て、2015年より埼玉県議会議員(現在2期目)

議会運営委員会副委員長、1年の任期が終わりました!

昨年1年間は、議会運営委員会の副委員長を拝命し、様々な経験をさせていただきました。議会運営委員会とは、議会をスムーズに進めるための機関で、通常、2月・6月・9月・12月と4回開催されます。しかし、昨年度は、度重なるコロナ対策等、審議するボリュームや時々の対応が数多くあり、臨時会を含め、議会が招集された回数は異例の10回。その為、通常では経験できない議会運営委員会副委員長という重職を、立石委員長、宇田川委員長と共に務められたことは、私自身大きな成長につながったのではないかと考えています。1年間ありがとうございました!



交通事故のない安全・安心な
埼玉県の実現にご協力を。



ドライバーの皆さん
横断歩道は歩行者優先です!

- ルール① 横断歩道に近づいた時は停止できる速度に減速
- ルール② 横断歩行者がいる場合は一時停止
- ルール③ 横断歩道手前の追い抜き・追い越し禁止
- ルール④ 停止車両がいる時は必ず一時停止



歩行者の皆さんは
「ハンドサイン」をお願いします!

横断歩道を渡る時は、必ず手を挙げ(ハンドサイン)、ドライバーに意思表示をしましょう。手を挙げると、車は止まりますので、交通事故防止のため、積極的にハンドサインを活用しましょう。



令和4年度 埼玉県一般会計 当初予算

当初予算は、2兆2284億5900万円（前年度比51%増）で、予算規模は過去最大で、新型コロナウイルス感染症対策に1880億円が計上されました。投資的経費も過去10年で最大の1822億円を計上し、公共事業も1000億円超が確保されました。

935の視点

1

財政全般について

依然として新型コロナウイルス感染症との社会・経済両面での戦いは続いている。この危機から脱却すべく感染拡大防止を重点的に取り組んでいることは評価できる。また、図らずも感染拡大により進んだデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進と、コロナ化での経済成長に取り組むことも盛り込まれている。新たな150年に向けて、「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」に向けて、限りある財源を重点的に配分し取り組んでもらいたい。



935の視点

2

予算特別委員会での発言から（抜粋）



◆もっと便利な県民サービスに向けて。

県庁内でもAI/RPAなどによる事務効率化が図られている。しかし予算では、対前年比2600万の減額となっていることについての質疑。

- ※1: AIとは、ビックデータを基にした人工知能の活用。
- ※2: RPAとは、ロボティック・プロセス・オートメーションと呼ばれ、事業プロセス自動化技術の一種。
- ※3: DXとは、デジタルトランスフォーメーション。デジタル化に対応し、組織やビジネスモデルの変革を図る一連の取り組み。



江原議員 AI/RPAなどによる業務効率化推進事業について。予算見積調書では、今年度の予算が前年と比べ、約2600万の減額となっている。業務効率化であるので、継続した予算が必要ということでもないと思うが、AI/RPAなどの業務の自動化は順調に進んでいると考えていいのか。

江原議員 AI活用における県民サービス事業である「埼玉コンシェルジュ推進事業」について。実際にこのサービスを利用して、使い勝手が悪い印象がある。本年度の運用、改修で3000万以上計上されているが、来年度予算3000万により、その効果は十分発揮できるのか。

江原議員 DX推進事業について。この事業は平成29年度から計画的に行われているが、予算額をみると、前年度より約1億1700万円の減額となっている。DXとしてまず重要だと考える、特にテレワークやペーパーレスなどを推進するにあたり、問題や支障が生じることはないのか。

◆新規就農がステージ毎のパッケージ支援に。



江原議員

新規就農総合支援事業について。私はこの事業は、新規就農者を支援するパッケージだと思っている。まず、農業を始めるにあたって準備や研修段階にある方が、年間150万、2年間交付される。その後、経営が不安定な就農直後の方への支援として年150万、上限5年間交付される。そして今回支援が拡充されたのが、新規就農後にかかる機器や施設の導入などに750万円が交付されることになる。つまり、新規就農者が、研修期、就農直後、その後の発展支援と、新規就農者が当たるであろう壁やステップに応じて資金を交付していくパッケージとなった事業であると考えている。

江原議員 今までの交付状況、人数はどうなっているのか。原則研修時49歳以下となっているが、実際の年齢層はどのようなのか。特に把握していないとのことだが、年齢層等も把握すべきであると考えている。

江原議員 申請の内容について。煩雑な申請書類すぎるとの話を多くいただいている。申請書を確認した。もちろん、国のお金なので、各書類の提出は必要である。しかし一方で、毎年提出する書類の中に不必要と思われるものも散見され、申請者からは、疑問の声もある。交付する側、申請する側、両者にとって意味あるものにすべきではないか。必要な内容はむしろしっかり、重複や形式的な部分はなるべく排除し、意味のある内容にすることで、この事業がより良いものになると考える。提出書類の内容や、形式について、国へ働きかけるべきだと思うが、いかがか。

◆ネギネクロバネキノコバエ対策の周知徹底を！

江原議員

ネギネクロバネキノコバエは、2016年に埼玉県北部のネギにおいて、国内で初めて被害が確認された新しい害虫である。地元の深谷市でも北部の利根川沿いなど、当時はかなりの被害であった。幼虫はネギやニンジン等の地下部を食害し、発生量により大きな被害となるため、発生初期には県・市・JA・生産者が対策に取り組み、防除体系を確立させている。しかし、例えば同じ深谷市でも、これまで発生が確認されていない地域では、この害虫への対策が生産者に伝わっておらず、新たな被害が発生している。これまで発生していない地域にこそ、発生した場合に備え、より関心を持ってもらえるよう、より一層の周知徹底を図るべきと考える。



◆埼玉県の名物となるような祭典に。



本県の和文化といえば、「埼玉WABISABI大祭典」が想起される。それ程多くの県民に認知されてきたものだが、来年度から「埼玉WABISABI大祭典」から、「地域社会を守る和文化の発信と継承団体の支援事業」として新たな予算組が約1000万計上された。

江原議員

知名度が上がり、県民の認知が進んできた「WABISABI大祭典」というネーミングは、もちろんオリンピック、パラリンピックに向けての事業であった事は承知しているが、県民に、これだけ広く浸透した名前が無くなるのは少し残念ではないか。名前を残すのは難しいのか。残せない、残さない理由があれば説明いただきたい。

江原議員

コロナ禍もあり、この5年間で、形態を変え、時には台風で中止になったこともあったが、その中で進めたイベントだからこそ、これまでにない様々な経験やノウハウが得られたと思う。今後どう生かし、どのように進めていくのか。

江原議員

来年度の事業では、団体が活動の成果を発表する場との答弁。このイベントが、和文化の発信と継承にどのように役立つのか説明をお願いしたい。このイベントを伝統芸能の魅力発信と継承支援にぜひ役立ててもらいたいと思うからだ。また、企業のサポーター制度について、新たな取り組みだが、どのようなもので具体的にどのようなサポートをするのか。

◆子どもたちの可能性を更に上げよう！

江原議員

日本橋の「分身ロボットカフェ」に伺い、代表のオリイこと吉藤健太郎氏にお話を伺うことができた。「様々な問題によって行きたいところに行けない人のもう一つの身体、それが『オリヒメ』」カフェでは、この『オリヒメ』が、メニュー説明やお勧め等を教えてくれて注文を取るのだが、実際に対応してくれるのは、なんと広島から遠隔操作！以前から知ってはいたものの、実際に体験すると、未来の国に来たような感覚が得られた。また、「あまのがわ」という映画も、先生方にぜひご覧いただきたいと思う。



埼玉県では、このオリヒメを平成30年から3年間、国の支援によるモデル事業としておこなった。具体的には、病院に入院している生徒が、ベットの上からオリヒメを通じて授業やクラスに参加したとのこと。

江原議員

オリヒメのモデル導入の3年間の結果をどのように評価したのか。その結果を経て、モデル事業から県単で事業化されている。今年度は2台導入するとのことだが、使い方はけやき特別支援学校のモデル事業と同じ内容なのか。

江原議員

県単でオリヒメ2台導入は高く評価するが、オリヒメの可能性はまだ無限にある。例えば、福岡県や三重県では、特別支援学校の生徒の「遠隔就労体験プログラム」として行われている。半ば就労を諦めかけていた生徒や保護者にとっては、働ける可能性が大きく広がるキャリア教育に役立ち、先生方の進路指導の幅が広がっているとのこと。群馬県では、特別支援学校の修学旅行にも活用されていると聞いている。このように、『オリヒメ』の今後の更なる活用の可能性についてどのように考えているのか。

◆スクールロイヤー制度、その前に。



江原議員

学校問題解決のためのスクールロイヤー活用事業について。事業の重要性は理解するが、私は、保護者や近隣住民とのトラブル等は、いきなりスクールロイヤーではなく、そもそもトラブルを未然に防ぐことこそ大事だと思っている。学校では、対こどもより、対大人の課題が多くあり、教員の管理において

も、複雑化している事も理解している。だからこそ、法的な問題の前にある、専門家によるマナーアップやコミュニケーション能力を上げる研修が必要である。特に管理職の先生方は、その様な研修を受ける機会が少ないと思うので、法的な問題と併せて、研修を手厚くすることも今後考えていくべきである。

◆命を守る「登山届」の提出率を上げるためには！

「登山届提出しましたか？」というポスターは、各警察署はもちろんのこと、県内各所で掲示されています。登山届は、万が一山登りで遭難した時に、警察による捜索・救助を早く行うための手掛かりとなるものです。しかし届け出件数は低迷しています。



江原議員

現在埼玉県では、登山届は紙の提出と、埼玉県警のHPから電子届出ができる。令和3年度の実績として、救助出動した件数は82件で、そのうちで登山届けを提出しているのは20%。つまり、遭難・救助された方の20%しか提出されていない現状である。登山総数を考えると、登山者全体の届け出率は更に低いことが推測される。まだまだ登山届の提出アップを図なければいけないと考えるが。

江原議員

周知していることも理解するが、提出率が上がっていない状況がある。そこで提案したいのが、登山届連携である。「ヤママップ」と「コンパス」が有名だが、これは登山愛好家のコミュニティプラットフォームで、アプリ毎の内容の差違こそあれ、この登山アプリ内の情報が連携できれば、①紙ベース、②県HPからの電子申請、に加えて③ヤママップ・コンパスのアプリから可能となるため、登山届提出率が上がり、遭難時の登山者救出率アップにつながると思う。埼玉県も協定を結び、登山届連携をすべきだと考えるがいかがか。

江原議員

埼玉県では登山届だけだが、アプリ内では、埼玉県の登山届の内容はもちろん、登山計画もあるので、より有効な情報を用いた、捜索・救助が可能となる。だからこそ、全国的な広がりを見せている協定である。群馬県では、コンパス、ヤママップ、それぞれと協定を結んでいると聞いている。何より、協定を結ぶだけなので予算も必要ない。来年度中には、協定を結ぶべきだと考える。

江原議員

「ヤママップ」や「コンパス」と協定を結ぶことを契機に、例えば遭難しないための講習会など開くなど、登山届連携以外での協力の可能性も広がると考える。引き続き、より安全な登山確保・普及に努めていただきたい。

改善命令について ご報告！

以前から、地元自治会長をはじめとした多くの皆様より、声をいただき懸案となっております。私も都度、担当部に要請をしまいましたが、深谷市内の漬物・カット野菜事業者へ改善命令が出されました。これは、水質汚濁防止法、埼玉県生活環境保全条例に基づく排出基準への違反が認められたためです。これまで、業者の皆さまは改善含め対応してきましたが、この改善命令により、令和4年の12月16日までに、排水が基準値以下となるよう施設等の改善が図られることとなります。生活者としては、これから臭いが更に気になる時期でもあります。3か月毎の経過報告などありますが、引き続き注視していきたいと思っております。



935活動報告

コロナ感染症対策を行いながら、非接触を最優先で頑張っています！



● 渋沢栄一翁の講話を伺いました



● 盛り上がった渋沢栄一さん。あともうひと踏ん張り！



● 一輪だけ咲いた！



● 『和田さくら農園植樹会』八高線が通る素晴らしいロケーション！



935



● 有機農業の可能性に期待！！



● 地元での消防団活動！



● 防犯ノルディックで地域をまわっています！



● 献血&骨髄バンク登録宜しくをお願いします！



● 世界がんがい施設遺産登録おめでとうございます！



● 深谷市戦没者追悼式参列



● ゴミ0運動に参加！



● オンライン会議も沢山ありました！



● 久々にお祭りができて良かった！



● 千鶴香先生の個展にお邪魔しました！



● 母校の熊谷女子高等学校110周年と深谷商業高等学校の100周年！



江原くみ子 県政事務所

〒366-0824 深谷市西島5丁目8-17 Y's Precious I 101
TEL.048-598-6706 FAX.048-598-6750
E-mail: info@eharakumiko.net



コロナはもちろん！何でもOKです！
県政についてのご意見・ご要望をお寄せください

お手数おかけいたしますが、切り取ってファックスでお送りください。
FAX.048-598-6750 935通信 2022年 ウィズコロナ号I
※いただいたご意見の個人情報は厳重に取扱い、適正に管理させていただきます。





県議会
レポート

ウィズコロナ号
Ⅱ

935通信

分身ロボットORIHIMEの視察！

障がい者雇用や不登校、病気を抱えた子どもたちの未来に期待！



約70人の障害者が就労



935

予算特別委員会で質疑する為、日本橋にある「分身ロボットカフェ DAWN ver.β」を訪問しました。そして、黒衣で有名な吉藤健太郎代表から、直接お話を伺うことができました。

「分身ロボットカフェ」では、寝たきりや精神疾患等で外出できない人が、「オリヒメ」というロボットのパイロットとなり接客をし、商品の説明や提供、話し相手をしてくれます。つまり、日本全国の離れた所に居ながらにして、東京のお洒落なカフェで働くことが可能なのです。「分身ロボットオリヒメ」は、障がい者だけでなく、外出しづらい方の就労支援、また学校へ行けない子どもに代わり授業が受けられる等、今後の大きな可能性が広がる技術であることは間違いありません。ロボットというとAIが話題になりますが、「人」が遠隔操作で動かす「分身ロボット」の新たな試みが始まっています。そこには、誰一人取り残さない社会を進めるためのヒントや答えが確かにあり、今後に期待できると思いました。



江原くみ子 プロフィール

1970年11月15日生 A型 さそり座
♥ 3人兄妹の末っ子。深谷市生まれ。
♥ 好きな食べ物/ご飯、餃子、茶碗蒸し。
♥ 白百合幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘小学校、南中学校、県立熊谷女子高校卒業。明治大学短期大学部法律科卒業。埼玉縣信用金庫で6年間勤務の後、大学入学のため退職、大阪外国語大学開発・環境専攻(専攻語ドイツ語)へ。ケルン大学(環境先進国であるドイツ)へ留学、法政大学大学院政策科学専攻(環境コース)修了。奨学金は完済！
♥ 市議会議員を経て、2015年より埼玉県議会議員(現在2期目)



新たな所属委員会が決まりました！

6月議会から、新たな所属委員会となります。今年度、江原くみ子は「文教委員会」、「人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会」の所属となりました。子どもたちの未来のため、教員の皆さんの人員不足や環境改善などを含め積極的に提案していきたいと思っています。この分野は将来に向け課題も様々あります。ぜひ皆様からのご意見お待ちしております。



ドネーションって何？

髪をバツサリ切りました。ヘアードネーション(いわゆる、髪の毛の寄付)です。小児がんや脱毛症、難病などで頭髪を失った子どもたちのウィッグになります。集まった髪の毛、約30人分で1人分のウィッグが作られていると聞いたので、私もお役に立てればと3年間、髪を伸ばしていました。有名な女優さんがドネーションをしたことで、この取り組みが認知され、小学生の子どもたちから『髪を伸ばして寄付することが流行っているよ。』とも聞きます。皆さんも是非やってみてはいかがでしょうか。(※いくつかの団体が行っていますので、詳細はネットでご確認を。)



医療用ウィッグ(=ヘアランスケア)は、現在のところ保険適用ではありません。もちろん、地方自治体では助成金がありますが、まだ実施されているのはほんの一部ですし、助成される金額も異なります。ヨーロッパの多くの国では保険適用になっていますので、ウィッグがより利用しやすい環境だと思います。引き続き議会で提案し続けていきます。多くの人に認識していただき、ウィッグをより身近に感じていただければ嬉しいです。

もし、 発熱したら



まずは、かかりつけ医に相談。
かかりつけ医で対応できない
場合には…



埼玉県指定 診療・検査医療機関

検索

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/hpsearch.html>

《受診先の確認・受診を迷う場合》

☎ 048-762-8026 FAX 048-816-5801

埼玉県受診・相談センター

午前9時～午後5時30分(土曜日、日曜日、祝日も対応)

《受診先の確認・一般的な質問》

☎ 0570-783-770 FAX 048-830-4808

県民サポートセンター

24時間・年中無休



令和4年度予算の確保!

深谷市・美里町・寄居町の皆さんの要望を予算として確保しました。県土整備や農業基盤整備など、今後も着々と進めていきたいと思ひます。各地域でお困りごとやご要望をぜひお聞かせください。

寄居桜沢地区産業団地の整備

今後地域に貢献できる産業団地である寄居桜沢産業団地の整備が、今年度完成に向け進んでいます。

令和4年度予算は1億5205万円(総事業費約22億円)



●西島踏切り付近 深谷寄居線 自転車歩行道整備



●深谷中央陸橋 深谷嵐山線 橋りょう修繕・断面修復



●桜ヶ丘歩道橋 深谷嵐山線 橋りょう修繕・塗装塗替



●本田道路改築 熊谷寄居線



●5月10日 県道深谷嵐山線整備推進に対し、市長、議長、委員長、地元議員さんと共に県土整備部長に要望致しました。



●田中交差点付近 深谷嵐山線 道路改築



●本田小川線 舗装道整備



●堀之内歩道橋 国道140号(桜沢) 橋りょう修繕・塗装塗替



●飯能寄居線 寄居バリアフリー安全対策・波打ち改善



●円良田道路改築(1期) 広木折原線



●円良田道路改築(2期) 広木折原線



●榛沢通り道路改築 花園本庄線 [3月23日 暫定開通しています!]

その他のインフラ事業予算も確保されています。〈抜粋〉

- 上武大橋：伊勢崎深谷線 橋りょう架換
- 山河：針ヶ谷岡線 自転車歩行道整備
- 本田：熊谷寄居線 自転車歩行道整備
- 本郷・武蔵野地区：花園本庄線 道路改築
- 川本下北原陸橋：国道140号 橋りょう修繕 ひび割れ補修
- 川本陸橋：国道140号 橋りょう修繕 ひび割れ補修
- 共栄橋：伊勢崎深谷線 橋りょう修繕 補修設計
- 黒田歩道橋：国道140号 橋りょう修繕 塗装塗替
- 普濟寺：中瀬普濟寺線 舗装道整備
- 武蔵野：深谷寄居線 舗装道整備
- 長在家：国道140号 舗装道整備
- 原郷：弁財深谷線 舗装道整備
- 岡部：藤治川河川改修 設計
- 清水川排水機場：ポンプ設備整備点検
- 唐沢川：河川改修 河川管理施設修繕
- 鉢形：赤浜小川線 交通安全歩道整備
- 露梨子：国道254号 交通安全歩道整備
- 秋山地区：坂本寄居線 災害防除モルタル吹付工
- 用土：小前田児玉線 舗装道整備
- 宮川：砂防施設 溪流保全工
- 少林寺川：砂防施設 溪流保全工 用地買収 物件補償
- 関山川：砂防施設 溪流保全工
- 荒川：川の再生推進 河川管理施設修繕
- 荒川寄居：桜沢 河川改修 河川管理施設修繕
- 甘粕：本庄寄居線 交通安全施設整備事業
- 新上宿橋：熊谷児玉線 橋りょう修繕 落橋防止
- 阿那志：本庄寄居線 舗装道整備 舗装修繕
- 猪俣：本庄寄居線 舗装道整備 舗装修繕
- 阿那志：熊谷児玉線 舗装道整備 舗装修繕
- 小茂田：児玉町蛭川普濟寺線 舗装道整備 舗装修繕
- 粉木川：砂防維持修繕 護岸修繕工
- 関：志戸川河川改修 河川管理施設修繕 等

各地域でのご要望をぜひお聞かせ下さい!



江原くみ子 県政事務所

〒366-0824 深谷市西島5丁目8-17 Y's Precious I 101
TEL.048-598-6706 FAX.048-598-6750
E-mail: info@eharakumiko.net



コロナはもちろん!何でもOKです!
県政についてのご意見・ご要望をお寄せください

お手数おかけいたしますが、切り取ってファックスでお送りください。
FAX.048-598-6750 935通信 ウィズコロナ号Ⅱ
※いただいたご意見の個人情報は厳重に取扱い、適正に管理させていただきます。

